就労支援事業進行管理票

≪対象:平成26年度≫

就労支援事業の評価について

■指標に対する達成状況

対象指標 → 働きかけの対象は?

活動指標 → 何をどのくらいしたのか?

成果指標 → 結果はどのくらい?

・主要課題に対して、適切と思われる指標を選択し、評価を行う。

※各事業内容で状況は異なるが、概ね以下の考え方により評価を行う。

「目標以上に達成した」=目標に対し120%以上及び前年対比減少していない

「目標通り達成した」=目標に対し100%以上120%未満

「概ね達成した」=目標に対し90%以上100%未満

■指標評価

指標評価は、各就労支援事業を評価する上で、数値で示せる部分について記載したもので、計画最終年度末に各所管課で達成が必要と判断している数値(他の計画や制度等で設定している場合はその数値)を目標値として設定し、評価する。

■有効性について

達成状況に関わらず、基礎自治体が担う事業としての有効性・必要性について評価します。この項目については、基礎自治体が就労支援事業を進めていく上で、最も重要な部分と考えていることから評価点を2倍とします。

■雇用・就業効果

就労支援に係る事業であることから、雇用・就業効果について一定の評価を行います。

- ・雇用・就業効果が直接的・間接的に関わらず、実施計画の「事業内容」で求められている内容に沿った事業実施を行っていれば、「3」評価とする。
- ・直接的な雇用・就業につながるなど雇用・就業効果が大きいと考えられる事業,もしくは実施計画の「事業内容」で求められている内容以上の効果が得られると考えられる事業等については「4」以上の評価とする。
- ・実施計画の「事業内容」で求められている内容に至らない内容の事業や、あきらかに達成状況が低い事業は「2」以下の評価とする。

■総合評価

総合評価は、実施計画事業の進行管理を行う上で、各事業を総体的に評価したものです。実施計画では、法や制度に基づき実施しているものや庁内連携のための連絡会など就労支援としての効果が計れず、評価が低くなってしまう事業もあります。このことから、主要課題に対応するための各事業の有効性、必要性という部分に重点を置きつつ、次年度以降の実施計画事業を継続的、効果的に進めるための指標として考えます。

【A:16点 ~ 20 点/B:11点 ~ 15 点/C:8点 ~ 10 点/D:3点 ~ 7 点】

А	基礎自治体が就労支援を推進する上で、大きな役割を担っており、実施計画の中で最も 有効性、必要性が高い事業である。
В	基礎自治体が就労支援を推進する上で、有効性、必要性が高い事業である。
С	事業内容によるが,就労支援を推進していく上で,有効性,必要性について検証し,改善する部分があれば対応を図る。
D	事業内容によるが、基礎自治体が就労支援を推進していく上で、必要な事業か検証し、 進行管理が必要かについても検討を行う。また、事業未実施などによる場合は、理由等 を明確にし、改善点などがあれば対応を図る。

就労支援事業進行管理票リスト

市	業番号	中恢弘而重要友	対象者	所管課		専門	『部会総合記	评価		所管課総
事	+未留写	実施計画事業名 	刈 豕 白	川官誌	達成状況	有効性	雇用·就業効果	総合点	総合評価	合評価
情 と報	1-1	就労支援情報の提供	全対象者	経済課	5	8	3	16	Α	Α
提の供収	1-2	女性就労支援図書コーナー	女性	文化と人権課	2	6	3	11	В	С
集	1-3	障害者への就労支援の情報の提供と啓発	障害者	障害者相談室	4	8	4	16	Α	В
就	2-4	障害者就労支援センターにおける就労相談	障害者	障害者相談室	2	8	4	14	В	В
労 相	2-5	的確な相談窓口への誘導	全対象者	経済課	2	6	3	11	В	В
談	2-6	生活保護被保護者等就労促進事業	生活保護法に基づく保護 の被保護者及び要保護者	生活福祉課	3	8	4	15	В	В
	3-7	就労支援情報の提供(再掲)	全対象者	経済課	5	8	3	16	Α	Α
啓 発	3-8	市の調達指針の周知	市民・事業者	契約管財課	4	8	3	15	В	В
活動	3-9	中学生職場体験	若者	学校指導課	4	8	3	15	В	В
	3-10	インターンシップ制度の活用	若者	職員課	2	8	4	14	В	В
雇	4-11	障害者団体への就労機会の拡大	障害者	障害者相談室	5	8	4	17	Α	Α
創出	4-12	高齢者の雇用機会の創出	高齢者	地域福祉課	3	8	4	15	В	В
出会の	4-13	市役所での障害者雇用の推進	障害者	職員課	4	10	4	18	Α	Α
0)	4-14	基金による雇用創出事業	全対象者	政策経営課 経済課	5	8	4	17	Α	Α
能力	5-15	母子家庭自立支援教育·給付金事業	女性	生活福祉課	2	8	4	14	В	В
開発	5-16	就労支援セミナーの実施	市民・事業者	経済課	2	8	3	13	В	В
光 • 訓	5-17	女性のための就労支援セミナーの実施	女性	文化と人権課	4	6	4	14	В	В
練	5-18	庁内実習体験事業	障害者	障害者相談室	5	8	4	17	Α	Α
推 地	6-19	就労支援推進のための庁内連絡会		経済課	5	8	3	16	Α	Α
地域体制	6-20	障害者就労支援のための連絡会		障害者相談室	5	8	3	16	В	В
理制 携 •	6-21	就労支援のための関係機関との連携		経済課	5	8	3	16	Α	Α

基本方針	就労に	がに向けた不安・悩みを解消するために 対象者 全対象者												
主要課題	●就労 特に ●東京	支援事 就労困 しごと	難者 () センタ	ってい 障害者, 一多摩,	若年,	 高齢者 部労働 ^村		シを中心とし	た情報	市民及び事業者・ 提供を進める。 改事務所),ハ				
実施計画事業名	就労支	援情報	の提供					事業内容	容	国・都・市の	就労支	泛援情報を適 じ	寺提供する。	
対象年度の実	績	市ホームページのほか、毎月15日号市報に東京しごとセンター多摩の就労支援情報を掲載した。 また、引き続き各関係機関のチラシ等を第1庁舎1階、2階に配架するにあたり対象年代別に整理し表示するなど、さらにわかりやすい情報提供に努めた。												
指標区分		設定した目標の内容 平成25年度(実績) 平成26年度(実績) 平成26年度(目標)												
対象指標		就労支	援情報	の提供	件数		199	9件		385件		15	60件	
活動指標		就労支	援情報	の提供	件数		199	9件		385件		15	60件	
成果指標														
◇指標に対する違	達成状 》	兄 [8	3→5点/	∕A→4,	点/B→	3点/C	→2点/	´D→0点】		◆選択した指	標=	活動指標		
■ S 目標以上に達	成した	Α		より達	成した	В		□ ───── ね達成した	С	□ 目標に達しなか	- t-		□ 	
所管課評価	,	高い 5	← -	3	-→	低い 1		10.2.1% 012	J	理由	372	D -1×111 (111/10/0/07	
有効性・必要性 (評価点×2)	Ē		•				れるもの	のも多く, 市報等	により防	こあり, 当該機関が 随時市民へ提供する	必要性	は高い。		
雇用・就業効果 (評価点×1)	1			•				せるうえで効果的		は対象別に開催され その情報提供する				
所管課総合評価	i	達成	状況	5	有刻	 沙性	8	雇用・就業効果	3	総合評価点	16	総合評価	Α	
専門部会評価		高い 5	← -	3	-→	低い 1				専門部会意	見			
有効性・必要性 (評価点×2)	Ė		=				所管課詞	平価のとおりとす	る。					
雇用・就業効果 (評価点×1)	1													
専門部会総合評	価	達成	状況	5	有刻	防性	8	雇用・就業効果	3	総合評価点	16	総合評価	Α	
							今後の	進め方						
•			[[
拡大・拡充		エ = >		維持	カロー・フェ	日記士	要引	-	+> 12	事業縮小	#8 =r -		・中止	
今後の課題・取組に	ついて	テフン	・寺の情	東で記	≭9 Ō []]	あげを1	での他が	□改1〜批入9の	4 С,	情報を目にする	物所を	714人9 句 🕒	⊆ が 秫 趣 。	
就労支援推進委員:	会の		評価は 関から			努め, 国	配架場所	所の拡大等,市	民に対	して効果的な情	報提供	さい 仕組みを	構築された	
意見等		1.1.												

NO 1 — 1

経済課

基本方針	就労に	就労に向けた不安・悩みを解消するために 対象者 女性											
			集と拐										
主要課題	特に ●東京	就労困 しごと	難者(センタ	障害者, 一多摩,	若年,	高齢者 部労働村	6. 女 目談情幸	D情報を随時収生)を中心とし なセンター(国	た情報	提供を進める。			
実施計画事業名	女性就	労支援	図書コ·	ーナー				事業内容	容	女性の再就職 図書や情報誌, 置し, 就労支	労働	関係の図書類	
対象年度の実	績	男女平等推進センターの一角に女性のための就労支援情報コーナーを設け、国や都からの情報提供を継続して実施した。男女平等推進センターの図書資料室に、女性の再就職に役立つ本の設置を継続して実施した。男工平等推進センター掲示板に、「もう一度働きたい方へ」というテーマで新聞切り抜きなどの掲示を継続して関施した。 設定した目標の内容 平成25年度(実績) 平成26年度(実績) 平成26年度(実績) 平成26年度(実績) 平成26年度(実績)											
指標区分		設	定した目	目標の内	内容	平月	成25年	度(実績)	平月	成26年度(実績	i)	平成26年	度(目標)
対象指標		蔵書数					2, 6	99冊		2, 628冊		2,	595 Ⅲ
活動指標		貸出冊	·数				19	1冊		93冊		2.	20 m
成果指標		貸出冊	·数				19	1冊		93冊		2.	20 Ⅲ
◇指標に対する	達成状法	兄 [8	3→5点/	∕A→4 հ	त्र∕B→	3点/C	→2点/	∕D→0点 】		◆選択した	指標=	成果指標	
			_				1						
S 目標以上に達	成した			おり達	成した		おおも	お達成した	С	目標に達しな	かった	D 取組	を行わなかった
所管課評価		高い 5	4	3	2	低い 1				理由			
有効性・必要性 (評価点×2)	Ė							情報を得ることを れるため。	目的に	男女平等推進セン	ターを訂	ちれる市民はそ	れほど多くないと
雇用・就業効果 (評価点×1)	1						事業内	容に沿い,情報提	供を実施	もしたため。			
所管課総合評価	ij.	達成	状況	2	有效	沙性	4	雇用 · 就業効果	3	総合評価点	9	総合評価	С
専門部会評価		高い	←-		- →	低い				専門部会意	· 目		
有効性・必要性		5	4	3	2	1	基本方	針が就労に向けた	不安・1			。直接的な就	労支援よりも,再
(評価点×2)							ため同	評価は3とする。			ては有効	か性・必要性が	あると考えられる
雇用・就業効果 (評価点×1)	÷						雇用・	就業効果は所管課	の評価。	どおりとする。			
専門部会総合評·	価	達成	状況	2	有效)性	6	雇用・就業効果	3	総合評価点	11	総合評価	В
							今後 <i>0</i>)進め方					
]									
拡大・拡充				維持				改善		事業縮小			・中止
今後の課題・取組に	ついて	・男女 行う。	平等推	進セン	ター図	書資料3	室を利力	用しやすく改善	する必	要がある。図書	書を借り	リやすくする	ための取組を
就労支援推進委員: 意見等	会の							妥当である。 咸少しているこ	とから	評価は2とし,	総合言	平価はCとす	るのが妥当で

NO

1 – 2

文化と人権課

就労支援事業資	進行管	 雪理勇	文] 勇	対象:	26年	度]		所管	課	障害者相談	室	NO	1 – 3	
基本方針	就労に	向けた	不安・	悩みを怠	解消する	るために		対 象:	者	障害者				
主要課題	●就労 特に ●東京	就労困	業を行 難者(センタ・	ってい _。 障害者, 一多摩,	若年,	高齢者	f, 女性	三) を中心とし	た情報	市民及び事業者へ広。 提供を進める。 ーク立川、市障害者症				
実施計画事業名	障害者	への就	労支援(の情報の	の提供と	노啓発		事業内	容	市障害者就労支援セ (1年更新)及び拡充		(H19, 4	~) への登録	
対象年度の実績	績	・職業安定所や障害福祉サービス事業所及び相談支援事業所等の関係機関と情報交換や連携を図るなど、地域における障害者就労支援のネットワークの整備に努めている。 ・雇用啓発セミナーは、就労支援センターのホームページや市報への掲載、関係機関への開催通知発送などにより周知を図り、38人の参加があった。 ・就労支援や就労訓練を継続して受けた結果、就職のタイミングを迎え、今年度は29人が就労している。 設定した目標の内容 平成25年度(実績) 平成26年度(実績) 平成26年度(目標)												
指標区分		設別	定した目	目標の内	内容	平原	成25年月	度 (実績)	平月	成26年度(実績)	平瓦	戈26年度	度(目標)	
対象指標		登録人	数				204	4人		205		190	人	
活動指標		雇用啓	発セミ	ナー開 [·]	催		1	回		10		1	回	
成果指標		セミナ	一参加	人数			24	人		38人		24.	Α	
◇指標に対する過	重成状》	兄 【S	→5点/	∕А→4 д	≒∕B→:	3点/C-	→2点/	´D→0点】		◆選択した指標=	活動指	標		
					B				_					
					FT 1-	B	おおむ	ね達成した	С	目標に達しなかった	D	取組を	行わなかった	
S目標以上に達成	成した	A 喜い	目標ど								L D	4X /III C		
	成した	A 高い 5		あり達 3		低い 1				理由	D	4×101 C		
S目標以上に達成		高い			-→	低い 1				理 由 Eや支援者、市民を対象に 雇用に際しての障害のヨ	- :開催して	おり, ←		
S 目標以上に達成 所管課評価 有効性・必要性	=	高い 5	4	3	2	低い 1	と企業技	旦当者からの発表	により, り, 障害	Eや支援者、市民を対象に 雇用に際しての障害の事 害者本人に対する就労へ	開催して理解を深め	おり, < かること	ができた。	
S 目標以上に達成 所管課評価 有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効果		高い 5	4	3	2	低い 1	と企業技	旦当者からの発表 ミナーの開催によ	により, り, 障害 っている	Eや支援者、市民を対象に 雇用に際しての障害の事 害者本人に対する就労へ	開催して理解を深め	おり, く かること ナや意識	ができた。	
S 目標以上に達成所管課評価 有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効果 (評価点×1)		高い 5 □	4	3	2	低い 1 □	と企業技 雇用セミ 害者雇用	旦当者からの発表 ミナーの開催によ 用の啓発につなが	により, り, 障害 っている	Eや支援者, 市民を対象に 雇用に際しての障害の語 等者本人に対する就労への る。	:開催して 理解を深め の働きか!	おり, く かること ナや意識	ができた。 改革,企業の障	
S 目標以上に達成所管課評価 有効性・必要性(評価点×2) 雇用・就業効果(評価点×1) 所管課総合評価		高い 5 □ □	4	3	2	低い 1	を企業技	旦当者からの発表 ミナーの開催によ 用の啓発につなか 雇用・就業効果	により, り, 障割 つている 3	Eや支援者, 市民を対象に 雇用に際しての障害の語 寄者本人に対する就労への	開催して理解を深めの働きから	おり、 ≤ かること ナや意識 評価	ができた。 改革、企業の障	
S 目標以上に達所所管課評価 有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効果 (評価点×1) 所管課総合評価 専門部会評価 有効性・必要性 (評価点×2)	<u> </u>	高い 5 □ □ 違成	4	3		低い 1 □ □ 数性 低い 1	と 企業 東田 セ 東田 セ 東田 セ 東田 セ マー マー マー マー マー マー マー マー マー マー	旦当者からの発表 ミナーの開催によれ ミナーの開催になが 見の啓発につなが 雇用・就業効果 一の開催だけでな 登録者から就労人	により、 り、でい 3 く、がが	Eや支援者、市民を対象に 雇用に際しての障害の語 選者本人に対する就労への。 総合評価点 15 専門部会意見	に開催して、理解を深めの働きかり 総合 ったことで アルマン・マール マール・マール・マール・マール・マール・マール・マール・マール・マール・マール・	おり、 ² と ナや意識 評価 で、 R 就	ができた。 改革、企業の障 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
S 目標以上に達成所管課評価 有効性・必要性(評価点×2) 雇用・就点×1) 所管課総合評価 専門部会評価 有効性・点率を 有効性・点率を (評価点×2) 雇用・価点×1)		高い 5 □ □ 達成 高い 5	4 ■ 状況	3 - 4	- → 2	低い 1 □ □ 	と 雇害 8 セタ考	旦当者からの発表 ミナーの開催によれ ミナーの開催によれ の啓発につなが 雇用・就業効果 一の開催だけでな 登録者から就労人 同評価は4とす	により、 り、でいる 3 く、全々がまた。	Eや支援者、市民を対象に 雇用に際しての障害の語言者本人に対する就労への る。 総合評価点 15 専門部会意見 本的な情報の提供等を行ったと考えられ。一定本語	関催して 理解を深め の働きかい を合っ ・主、ここを をできます。	おり、そとおることを意識を表する。	ができた。 改革、企業の障	
S 目標以上に達成所管課評価 有効性・必要性(評価点×2) 雇用・就業効果(評価点×1) 所管課総合評価 専門部会評価 有効性・必要性(評価点業効果		高い 5 □ □ 達成 高い 5	4 ■ □ 状況 4	3 - 4	- → 2	低い 1 □ □	と 企業 東田 セ 東田 セ 東田 セ 東田 セ マー マー マー マー マー マー マー マー マー マー	旦当者からの発表 ミナーの開催によれ ミナーの開催によれ 見の啓発につなが 雇用・就業効果 一の開催だけでな 登録者から就労人	により、 り、でいる 3 く、全々がまた。	Eや支援者、市民を対象に 雇用に際しての障害の語 等者本人に対する就労への る。 総合評価点 15 専門部会意見 ないな情報の提供等を行ったと考えられ。一定本語	に開催して、理解を深めの働きかり 総合 ったことで アルマン・マール マール・マール・マール・マール・マール・マール・マール・マール・マール・マール・	おり、そとおることを意識を表する。	ができた。 改革、企業の障 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
S 目標以上に達成所管課評価 有効性・必要性(評価点×2) 雇用・成点×1) 所管課総合評価 専門部会評価 有効性・点率を 有効性・点率を (評価点素×1) 雇用・価点×2) 雇用・価点×2)		高い 5 □ □ 達成 高い 5	4 ■ 状況	3 - 4	- → 2	低い 1 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	と 雇害 8 セ雇用者 8 セタ考	旦当者からの発表 ミナーの開催によれ ミナーの開催によれ の啓発につなが 雇用・就業効果 一の開催だけでな 登録者から就労人 同評価は4とす	により、 り、でいる 3 く、全々がまた。	Eや支援者、市民を対象に 雇用に際しての障害の語言者本人に対する就労への る。 総合評価点 15 専門部会意見 本的な情報の提供等を行ったと考えられ。一定本語	関催して 理解を深め の働きかい を合っ ・主、ここを をできます。	おり、そとおることを意識を表する。	ができた。 改革、企業の障	
S 目標以上に達成所管課評価 有効性・必要性(評価点×2) 雇用・成点×1) 所管課総合評価 専門部会評価 有効性・点率を (評価点×2) 雇用・価点×2) 雇用・価点×2)		高い 5 □ □ 達成 高い 5	4 ■ \	3 - 4	- → 2	低い 1 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	を企業者 雇害 8 セタ考 8 今後の	担当者からの発表 ミナーの開催によか 用の啓発によか 雇用・就業効果 一の開催だけでな 受験者がしてな 同評価は4とす 雇用・就業効果	により、 り、でいる 3 く、全々がまた。	Eや支援者、市民を対象に 雇用に際しての障害の語言者本人に対する就労への る。 総合評価点 15 専門部会意見 本的な情報の提供等を行ったと考えられ。一定本語	関催して 理解を深め の働きかい を合っ ・主、ここを をできます。	おり、そとおることを意識を表する。	ができた。 改革、企業の障	
S 目標以上に達所所管課評価 有効性・必要性(評価・点素×2) 雇用・価値、就業×1) 所管課総合評価 専門部会評価・有効評価・点素業へのでは、第十分では	5 5	高い 5 □ □ 産成 高い 5 □ □ 成	4 ■	3 - 4 - 3 - 4	→ 2	低い 1	と 雇害 8 セタ考 8 サージ。 8 のの 0 こっえ 8	世当者からの発表 まナーの開催であり、 はなか果 一の開催である。 を登録では、 を登録では、 を登録では、 を登録では、 を登録では、 を登録であります。 をというます。 をという。 をというます。 をというます。 をという。 をとい。 をという。 をとい。 をという。 をとい。 をという。 をという。 をとい。 をと、 をと、 をと、 をと、 をと、 をと、 と、 をと、 をと、 と、 をと、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と。 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、	は、	を で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	開催して、関係を深めの動きから、大きなのでは、できません。	おめっ、さと おり、さと まかり、さい おり、さい で、R・ボード (本) で、R・ボード (本) で R・ボード (本)	ができた。 改革、企業の障 B 者就労支援セン とと よする。 A	
S 目標以上に達所所管課評価 有効性・必要性 (評価・就案 2) 雇用・価点業 1) 所管課総合評価 専門部会評価 有効性・点業 2) 雇用・価点素 2) 雇用・価点素 1) 専門部会総合評価		高 5 0 違 高 5 0 0 強 特が。 変 で 変 で を で で で で で で で で で で で の に の 。 が に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る 。 に る に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に	4 ■ □ 状 4 ■ □ 状 現学	3 4 4 4 4 4 4 4		低い 1	と 雇害 8 セタ考 8 セタ考 8 サージる。 0 日セミナー・引き 0 ロージャー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	田当者からの発表 まけの開発によか 雇用・就業効果 一の開名評価・就業効果 を登録によかする。 を登録によかする。 を受けるでは、まかります。 を受けるがある。 を対してながまする。 をがまする。 をがまる。 をがながながまる。 をがまる。 をがまるをがながながながながながな	は、 り、 で は な は か は か は か は か は か は か は か は か は か	を で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	開催して深めの動きからを表するとで、関係をできませる。	おること識ので、おいまで、おいまで、おいまで、おいまで、おいまで、おいまで、おいまで、おいま	ができた。 改革、企業の障 B 者就労支援ったとと A 「中止 の拡大につな	

就労支援事業	進行領	管理勇	票 [文	対象:	26年	度]		Ē	所管	課	障害者相	談室	NO	2 – 4
基本方針	就労に	向けた	不安・	悩みをク	解消する	るために	-	Ż	対象	者	障害者			
主要課題	し, ●各関	者支援 障害者 係機関	が就労	につな; 携を深る	がるよう め、東京	うな支持 京都等に	爰を図っ こおいて	ていく	. 0		より、就労に関う 談業務の相談機会			
実施計画事業名	障害者	就労支	援セン	ターに	おける家	就労相詞		=	事業内	容	障害のある方で, 就職準備支援か 相談を行う。			
対象年度の実	績													vを未然に防 :。 :, 定着支援
指標区分		設!	定した	目標の内	内容	平月	成25年原	度(実	績)	平	成26年度(実績)	平	成26年度	度(目標)
対象指標		登録人	.数				204	4人			205人		190), <u> </u>
活動指標		相談人	、数				4, 70	61人			5, 780人		5, 40	00人
成果指標		定着	支援対象	象者 (到	正べ)		110)人			121人		190) 人
									_					
◇指標に対する道	達成状法	兄 [8	5→5点/	∕A→4դ	র ∕ B→:	3点/C	→2点/	′D→0 ह	ā]		◆選択した指	標= 成果排	旨標	
		_]]						
		A]	気/B→ 成した	В	-]		С	■目標に達しなか] 行わなかった
		_]]		С				
S 目標以上に達	成した	A 高い	目標ど	おり達	成した -→	B 低い	おおむ 就職準備に、職場	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	だした 	」 面の安定を や家族及び ィネーター	■ 目標に達しなか 理由 (図ることが必要であり) 「事業主に対し必要な助」による支援の役割は大	った D , 就職後も安け 言や調整を行ったい。	取組を定して就労うなど、就	行わなかった を継続できるよう 労支援コーディ
□ S 目標以上に達 所管課評価 有効性・必要性	成した E	A 高い 5	目標ど 4	おり達 3	成した 	B 低い 1	おおむ 就職準備場 に、ネーター 利用者の支援る	とした 日本 とを・ 日本 とを・ 日本 とを・ 日本 と は 常 は かいま	が 状や生活 が 利用者 接コーデ 活リズム に行い、	面の安定でです。 ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは	■ 目標に達しなか 理 由 図ることが必要であり	った D . 就職後も安けます。 言や調整を行きい。 職業能力を高	取組を _{定して就労} うなど、就	行わなかった を継続できるよう 労支援コーディ 生活面と就労面
□ S 目標以上に達 所管課評価 有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効果	成した E	A 高い 5	目標と 4	おり達 3	成した 	B 低い 1	おおむ 就職準備場 に、ネーター 利用者の支援る	として問える生活を中のをを行うな	が 状や生活 が 利用者 接コーデ 活リズム に行い、	面の安定をなって、のまれて、の 調職後に 対 ・ 職業に 対 ・ 職業に 対 ・ 職業に 対 ・ 職業に 対 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	■ 目標に達しなか 理由 図ることが必要であり 「事業主に対し必要な助」による支援の役割は大 を図り、就労意欲や は職場訪問を実施し 効果は高い。	った D 、就職後も安) 言や調整を行ったい。 職業能力を高	取組を _{定して就労} うなど、就	行わなかった を継続できるよう 労支援コーディ 生活面と就労面
日標以上に達所管課評価 有効性・必要性(評価点×2) 雇用・就業効果(評価点×1)	成した E	A 高い 5	目標 ど 4	まり達 3 0	成した 	B 低い 1	就職準備場ネーターの支援を や調整を	として問える生活を中のをを行うな	はした ボヤ生活 ・ 利用者 接コーデ・ ・ 活リズム ・ に行い、 にど、雇用	面の安定をなって、のまれて、の 調職後に 対 ・ 職業に 対 ・ 職業に 対 ・ 職業に 対 ・ 職業に 対 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	■ 目標に達しなか 理 由 図ることが必要であり 「事業主に対し必要な助したよる支援の役割は大 を図り、就労意欲やはよ職場訪問を実施し 効果は高い。 総合評価点	つた D	取組を定して就労労うなど、就のあるなど、事業主に	行わなかった を継続できるよう 労支援コーディ 生活面と就労面 対し必要な助言
日標以上に達 所管課評価 有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効果	成した E	A 高い 5 口 口 達成 高い 5	目標と 4 ■ は状況	まり達 3 口 口 2	成した 	B 低い 1 口 切性	就職準備場 利の支護整で 8	コーね 達 の	大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	面の安定を含めた。 の安定をなる。 のでは、 ので	■ 目標に達しなか 理由 図ることが必要であり 事業主に対し必要であり 事業主に対し必要が表現した。 を図り,就対意なも、 な職場訪問を実施し 効果は高い。 総合評価点 専門部会意見 が昨年の11人から今	つた D , 就職後も安けった。 言さい。 職業能力を高い。 利用者及び 14 総名	取組を 定して就労労 など、就労 あるなど、就等 業主に	行わなかった を継続できるよう 労支援コーディ 生活面と就労面 対し必要な助言
□ S 目標以上に達 所管課評価 有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効果 (評価点×1) 所管課総合評価 専門部会評価 有効性・必要性 (評価点×2)	成した E 5	A 高い 5 口 達成	目標と 4 ■ は状況	おり達 3 ロ ロ 2	成した 	低い 1 □	就職準備場 利の支護整で 8	コーね 達 の	大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	面の安定を含めた。 の安定をなる。 のでは、 ので	■ 目標に達しなか 理由 図ることが必要であり 事業主に対し必要な助 は大を図り、就労意味と が場訪問を実施し 効果は高い。 総合評価点 専門部会意見	つた D , 就職後も安けった。 言さい。 職業能力を高い。 利用者及び 14 総名	取組を 定して就労労 など、就労 あるなど、就等 業主に	行わなかった を継続できるよう 労支援コーディ 生活面と就労面 対し必要な助言
日標以上に達所管課評価 有効性・必変性 (評価点×2) 雇用・就業 3) 所管課総合評価 専門部会評価 有効性・点×2) 雇用・点×2) 雇用・点×2) 雇用・点×2) 雇用・点×2) 雇用・点×2)	成した E	A 高い 5 口 違成 高い 5	目標 ど 4 1 1 1 1 1 1 1 1	おり達 3 0 2 2	成した 	B 低い 1 口 か性	就職準備場へ 利用支護を 8	コーね 達 の	大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	面の安定をなる。 おいま の できない できない できない できない できない できない できない できない	■ 目標に達しなか 理由 図ることが必要であり が事業主に対し役割 がいるでは大を図り、就労を実施した。 は場前的を実施し 効果は高い。 総合評価点 専門部会意 が昨年の11人から今 評価どおりとする。	つた D . 就職後も安う 言さい 意	取組を ^{定して就労就} ^{おめる} など。 なる なが事 本 が が は が は が は が は に が は に に に が に に に に に に に に に に に に に	行わなかった を継続できるよう 労支援コーディ 生活面と就労面 対し必要な助言 B
□ S 目標以上に達 所管課評価 有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効果 (評価会 × 1) 所管課総合評価 専門部会評価 有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効果	成した E	A 高い 5 口 違成 高い 5	目標 ど 4 ■ は状況 4	まり達 3 0 2	成した 	B 低い 1 口 の 数性	就職準備場 利の支護整で 8	は とを・ からを 雇 明か からし はい	大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	面の安定をない。 おいま の おいま の まん タームの 調整 () ・	■ 目標に達しなか 理由 図ることが必要であり が事業主に対し役割 がいるでは大を図り、就労を実施した。 は場前的を実施し 効果は高い。 総合評価点 専門部会意 が昨年の11人から今 評価どおりとする。	つた D , 就職後も安治・高さい。 職業和用者及び 14 総 を	取組を 定して就労労 など、就労 あるなど、就等 業主に	行わなかった を継続できるよう 労支援コーディ 生活面と就労面 対し必要な助言
日標以上に達所管課評価 有効性・必変性 (評価点×2) 雇用・就業 3) 所管課総合評価 専門部会評価 有効性・点×2) 雇用・点×2) 雇用・点×2) 雇用・点×2) 雇用・点×2) 雇用・点×2)	成した E	A 高い 5 口 違成 高い 5	目標 ど 4 1 1 1 1 1 1 1 1	おり達 3 0 2 2	成した 	B 低い 1 口 か性	就職準備場へ 利用支護を 8	記 は な とを・ の を を を を を を を を を を を を を	けいた 大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・	面の安定をなる。 おいま の できない できない できない できない できない できない できない できない	■ 目標に達しなか 理由 図ることが必要であり が事業主に対し役割 がいるでは大を図り、就労を実施した。 は場前的を実施し 効果は高い。 総合評価点 専門部会意 が昨年の11人から今 評価どおりとする。	つた D . 就職後も安う 言さい 意	取組を ^{定して就労就} ^{おめる} など。 なる なが事 本 が が は が は が は が は に が は に に に が に に に に に に に に に に に に に	行わなかった を継続できるよう 労支援コーディ 生活面と就労面 対し必要な助言 B
□ S 目標以上に達所管課評価 有効性・必×2) 雇用評価 未	成した E	A 高い 5 口 違成 高い 5	目標 ど 4 ■ は状況 4	まり達 3 0 2 2 2	成した 	B 低い 1 口 か性	就職準備場 就職職 利の支調整 8 所この 8 今後の	は を を で で で で で で で で で で で で で	けいた 大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・	面の安定をなる。 おいま の できない できない できない できない できない できない できない できない	■ 目標に達しなか 理由	つた D . 就職後も安う 言さい 意	取組を をして就労就 のある なさに がある を がある を が が が が が が が が が が が が が が が が が が	行わなかった を継続できるよう 対支援コーディ 生活面と就労面 対し必要な助言 B
日標以上に達所管課評価 有効性・点×2) 雇用・価点×1) 所管課総合評価 専門部会評価 有効性・点×2) 雇用に価点×2) 雇用に価点×2) 雇用評価点×2) 雇用評価点×2)	成した E E	A 高い 5 二 二 達成 5 二 二 達成 場でする はい また。 はい また。 はい はい また。 はい また。 はい また。 はい また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。	目	おり達 3 2 2 1 4 1 3 1 2 1 4 1 5 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7	成した ② □ 有	B 低い 1 ロ ロ か性 低い 1 ロ ロ か性 に 1 は 1 日 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1	おお 職職に 利のや 8 第一	こ ね とを・ のをを 雇 脱上 雇 進 女 で) をを で 雇 明か 雇 進 童 女 で) 適連 を は	t	面の安定をなって、ののまりです。 ののまた のの 記職職業 人類の 記載 大学 は 大学課 人類の こうしん ない こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん	■ 目標に達しなか 理 由 図ることが必要である対策の対策の対策の対策の対策の対策の対策の対策の対策の対策の対策の対策の対策の対	つた D	取組を 定して就労就 でもなど、るま主 ・神価 ・神価 人により	行わなかった を継続できるよく まるデー 就な は 活し必要 B いる。 B 中上 接全

基本方針	就労に	向けた不安・悩みを解消するために 対象者 全対象者												
主要課題	し, 障 ●各関	者支援 害者が 係機関	就労に	つなが 携を深	るような	な支援を な都等に	と図って	いく。		より,就労に関 談業務の相談機				
実施計画事業名	的確な	相談窓	ロへの	誘導				事業内容	容	関係機関への紹	介			
対象年度の実		平成23年度に作成の就労相談窓口を紹介した「就労支援マッブ」の内容を平成26年度に改訂し、作成・配った。それにより求職者を的確な相談窓口へ誘導できるよう周知を図った。												
指標区分		設定した目標の内容 平成25年度(実績) 平成26年度(実績) 平成26年度(目活											度 (目標)	
対象指標			_	-			_	_		_		_	-	
活動指標		就労	'支援マ	ップ配	布数		100)部		100部		300	部	
成果指標			_	_			_	_		_		_	-	
◇指標に対するi	達成状 》	兄 [S	→5点/	∕A→4,	点/B→:	3点/C	→2点/	´D→0点】		◆選択した指	標=	活動指標		
<u> </u>			_				_]		· ·		<u> </u>	_	
S 目標以上に達	成した	A 高い		おり達	成した ーー	B 低い	おおむ	ね達成した	С	目標に達しなか	った	D 取組を	行わなかった	
所管課評価		高い 5	4	3	2	14.00				理由				
有効性・必要性 (評価点×2)	Ė									₹などの情報を庁内で持 ↑寺市就労支援マップで				
雇用・就業効果 (評価点×1)	ŧ			•				員へ就労関連窓口 とができる。	を周知し	し、適切な窓口案内	をする	ことで求職者等	が円滑に情報を	
所管課総合評価	li .	達成	状況	2	有交	协性	6	雇用・就業効果	3	総合評価点	11	総合評価	В	
専門部会評価		高い	← -		-→	低い				専門部会意	見			
有効性・必要性		5	4	3	2	1	所管課詞	平価のとおりとす	る。					
(評価点×2) 雇用・就業効果	1							F度リニューアル −ムページにも掲		子については,来庁 更性を図ること。	・しなく	ても市民に情報	を提供できるよ	
(評価点×1) 専門部会総合評			## III	2			6		3	公 会预/年上	11	<u></u> 		
専門部会総合評	Щ	连队	状況	2	有名	沙性	6	雇用・就業効果	ა	総合評価点	11	総合評価	В	
							今後の	進め方						
 拡大・拡充				維持				▼ 養		事業縮小				
今後の課題・取組に			刷し主	に庁内			記布して	-	援マッ	事業権が プ」を平成27年	度に!	廃止・ リニューアルし	Ť	
就労支援推進委員: 意見等	会の		評価は 等を活			市民に「	句けてよ	り効率的・効	果的に	情報を提供する	こと。			

N0 2-5

経済課

就労支援事業	進行管	管理 票	[文	才 象:	26年	度]		所管認	果	生活福	祉課	NO	2-6
基本方針	就労に	向けたる	不安・忖	凶みを怠	解消する	るために	=	対象者	亅	生活保護法に基 及び要保護者	基づく保	と護の被保護者	Ĭ
主要課題	し, 障 ●各関	者支援 [・] 害者が	就労に′ との連掛	つなが <i>。</i> 隽を深る	るようた め、東京	ま支援を を都等に	を図って	 間談を実施する。 にいく。 に行われている。					
実施計画事業名	生活保	護被保詞	護者等意	就労促迫	進事業			事業内容	\$	生活保護法に表 者の就労に関す 就労促進指導 者等の就労の(する相談 員を設置	を受け, その はすることに。	D指導を行う
対象年度の実		●相談: ●就職				舌保護	受給者4	2件/母子家庭()件/§	要保護者等6件)			
指標区分		設定	官した目	目標の内	容	平月	或25年	度 (実績)	平	成26年度(実績	()	平成26年月	度(目標)
対象指標			_	-			-	_		_		_	_
活動指標		相	談件数	(延べ)		43	5件		444件		480	件
成果指標			就職	件数			43	3件		48件		60	件
◇指標に対する過	達成状 》	兄 【S·	→5点/	^A→4 点	ā∕B→:	3点/C-	→2点/	∕D→0点 】		◆選択した打	旨標= 氵	舌動指標	
	+ 1 4						4×4×4	■			. 4		
S 目標以上に達	以した	A 高い	目標ど	おり達		B 低い	ಶಿಹಕ	ね達成した	С	目標に達しなた	いった	D 取組を	行わなかった
所管課評価 		5	4	3	2	1				理由			
有効性・必要性 (評価点×2)	<u> </u>		•				就労支	導や求人情報等の 援が行われており, にもつながり, 対	有効	生は高い。また,)	就労によ	って収入を得る	
雇用・就業効果 (評価点×1)	1							進指導員が,就労 行うことで,就労			ハロー	ワークへの支援	要請などの就労
所管課総合評価	5	達成	状況	3	有效	为性	8	雇用・就業効果	4	総合評価点	15	総合評価	В
専門部会評価		高い	← -		- →	低い				専門部会意	見		
有効性・必要性		5	4	3	2	1	所管課	評価のとおりとす	る。	-, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
(評価点×2) 雇用・就業効果	<u>l</u>												
(評価点×1)											4 F T		
専門部会総合評	西	達成	状況	3	有交	沙性	8	雇用・就業効果	4	総合評価点	15	総合評価	В
							今後 <i>σ</i>)進め方					
								.					
拡大・拡充		能な職 労に結 →同行	業に就 び付か 支援や	きる収 くため ないケ 求人開	の支援 る ースも る 拓等ア [・]	をしてし あり、3 クトリー	ハケース ハくかが 支援内な	改 善 スが多く, いかが課題である。 学を見直す必要: 手法を取り入れ 事業との連携を	また, がある るなど	求人情報等の扱。 。 、被保護者等の	提供や助	言をするも、	労自立が可 なかなか就
就労支援推進委員: 意見等	会の	部会の	評価は	妥当で	ある。								

基本方針	就労の	場の確	保と働	きやすい	ハ環境を	を作るか	こめに	対象	当	全対象者					
主要課題	ー層 ●商工 で契約	関係機の団体とう等	に向け の協力 取り組 を見直	た啓発注 を図り, む。 し, 就!	舌動を行 就労に 職困難者	fい, 均 に関する fの雇用	地域社会 る啓発活 用状況を	市民や地域の会の理解を推進 活動を進め、東 近業者選定に反り であるして、将	する。 京しご 映させ	とセンター多盾 る仕組みづくり	≝等との りを確立)連携し, 広域 でする。	的な連携が		
実施計画事業名	就労支 (再掲		の提供					事業内容	容	国・都・市の)就労3	支援情報を適時	提供する。		
対象年度の実	績	市ホームページのほか、毎月15日号市報に東京しごとセンター多摩の就労支援情報を掲載した。また、引き続き各関係機関のチラシ等を第1庁舎1階、2階に配架するにあたり対象年代別に整理し表示するなど、さらにわかりやすい情報提供に努めた。													
指標区分		設定した目標の内容 平成25年度(実績) 平成26年度(実績) 平成26年度(目標)													
対象指標		就労支	援情報	の提供	件数		19	9件		385件		150	件		
活動指標		就労支	援情報	の提供	件数		19	9件		385件		150	件		
成果指標															
◇指標に対する	達成状法	兄 [8	3→5点/	∕A→4点	ā∕B→:	3点/C	→2点/	´D→0点】		◆選択した	指標=	活動指標			
]			ĺ								
S 目標以上に達	成した				成した	В	おおむ	ね達成した	С	目標に達しな	かった	D 取組を	行わなかった		
所管課評価		高い 5	4	3	-→	低い 1				理由					
有効性・必要性 (評価点×2)			•					ごとセンター多摩 のも多く,市報等					市内で開催さ		
雇用・就業効場 (評価点×1)								援セミナー,就職 せるうえで効果的 える。							
所管課総合評値	6	達成	状況	5	有效	为性	8	雇用・就業効果	3	総合評価点	16	総合評価	Α		
専門部会評価		高い	 -		<u>-</u> →	低い				専門部会意	f 🗐				
有効性・必要性		5	4	3	2	1	所管課	評価のとおりとす	る。	ᆉᆡᄜᅐᄹ	ゝぴ				
(評価点×2)															
雇用・就業効男 (評価点×1)	Ē														
専門部会総合評	価	達成	状況	5	有效	为性	8	雇用・就業効果	3	総合評価点	16	総合評価	Α		
							今後の	進め方							
							[
拡大・拡充				維持				攻善	,	事業縮小		廃止・	·		
今後の課題・取組に	ついて	チラシ	∕等の情	報を配	架する [‡]	易所を	その他が	を設に拡大する	など,	情報を目にする	場所を	₽拡大すること	が課題。		
*********			評価は			. r. r.	ra to 10 -	T 0 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	· ·	+! = ! - !	± +p +p ·	40/1/27	Mr. 1. 1.		
就労支援推進委員 意見等	会の	関係機い。	関から	の情報	収集に	努め, 酉	配架場所	所の拡大等,市	民に対	して効果的の† 	青報提供	共の仕組みを構 	築された		

NO

経済課

3 - 7

基本方針	就労の	かの場の確保と働きやすい環境を作るために 対象者 市民・事業者											
主要課題	ー層(●商工(でき ●契約	関係 関係 関係 関係 はよ はままままする はいまままする。 はいまままする。 はいままままする。 はいままままする。 はいまままままする。 はいまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	に向け の協力 取り組 を見直	た啓発 を図り, む。 し, 就!	活動を行 就労/ 職困難?	テい, 均 に関する 者の雇用	地域社会 る啓発活 用状況を	市民や地域の第の理解を推進動を進め、東東北の東京のでは、東京の東京のでは、将ります。	する。 京しご 映させ	とセンター多層 る仕組みづくし	활等との りを確立)連携し,広 ヹする。	域的な連携が
実施計画事業名	市の調	達指針	の周知					事業内容	容	契約制度等の 況を業者選定 知。			難者の雇用状 づくりと周
対象年度の実													
指標区分		設定した目標の内容 平成25年度(実績) 平成26年度(実績) 平成26年度(目標)											度(目標)
対象指標			-	-			-	_					_
活動指標			-	_			-	_					_
成果指標			公共調達第合評価方式			総合評	平成25 価方式競争	5年7月 予入札の要綱制定	総合	評価方式競争入札の	運用	総合評価評価	ち式競争入札の運用
◇指標に対する	達成状況	? [S	3→5点/	∕A→4 ₅	点/B→	3点/C	→2点/	´D→0点】		◆選択した	指標=	成果指標	
]					
S 目標以上に達	成した	Α			成した		おおむ	ね達成した	С	目標に達しな	かった	D 取組	を行わなかった
所管課評価		高い 5	4	3	-→	低い 1	_			理由			
有効性・必要性 (評価点×2)	Ė		•				公共調達 適正に運		た「国分	`寺市工事請負契約(i	に係る総合	·評価競争入札実	施に関する要綱」を
雇用・就業効果 (評価点×1)							とが期待		雇用の可	「否はあくまでも事業	業者の任意	の意思によるも	の効果をもたらすこ のであるため、劇的
所管課総合評価	i i	達成	状況	4	有刻		8	雇用・就業効果	3	総合評価点	15	総合評価	В
専門部会評価	-	高い 5	← -	3	-→	低い 1				専門部会意	意見		
有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効果			•					平価のとおりとす 要綱に基づき, 引		箇正に運用してい	ただきた	<u>-</u> しヽ。	
(評価点×1) 専門部会総合評	佈	達成	⅓状況	4	右右	」	8	雇用・就業効果	3	総合評価点	15	総合評価	В
41111年至196日年	ІЩ	连从	51X //L	4	ΉΣ	2) II	0	准用:机未划未	J	心口口口	13	まりはは	Ь
							今後の	進め方					
				A# 14				. *		= # 45 1			
拡大・拡充 対象の はいまた はいまた かいまい かいまい かいまい はいい かいまい かいまい かいまい かいまい		上記要		維持 づき,	当該競	 争入札(牧 善 ・適正に運用し	ていく	事業縮小 ことが,必要 ⁻	である。		:・中止
就労支援推進委員:		部会の	評価は	妥当で	ある。								

NO

3 - 8

契約管財課

基本方針	就労の	場の確	保と働	きやすり	い環境で	を作るた	こめに	対象	者	若者					
主要課題	●商工 ●商で ●契約	関係機 の向体と る 制度等	に向け の協力 取り組 を見直	た啓発 た啓発 を図り, む。 し, 就!	活動を行 就労に 職困難者	テい, 地 に関する 者の雇用	也域社会 る啓発活 月状況を	の理解を推進 動を進め、東 業者選定に反	する。 京しご 映させ	に対しては、働 とセンター多摩 る仕組みづくり 業観への刺激や	等とのを確立)連携し,広 でする。	域的な	, ,	
実施計画事業名	中学生	職場体	験					事業内	容	職場を実体験す と就業意欲を啓)職業	鼰の醸成	
対象年度の実	績	中学生職場体験 (3日) を実施した。 728人 (5校) 設定した目標の内容 平成25年度 (実績) 平成26年度 (実績) 平成26年度 (目標)													
指標区分		設定した目標の内容 平成25年度(実績) 平成26年度(実績) 平												目標)	
対象指標		職場体	験日数				3	日		3日			3日		
活動指標		職場体	験日数				3	日		3日			3日		
成果指標		参加人	、数				740), <u> </u>		728人			724人		
◇指標に対する	達成状法	兄 [8	5→5点/	∕A→4 ⊧	≒∕B→	3点/C	→2点/	´D→0点】		◆選択した推	標=	成果指標			
			_				_								
S 目標以上に達	成した		目標ど	おり達	成した -→	В	おおむ	ね達成した	С	目標に達しなか	いった	D 取組	を行わ	なかった	
所管課評価		高い 5	4	3	2	低い 1				理由					
有効性・必要性 (評価点×2)	Ė						職場を到	実体験することで	,将来(の職業観の醸成と家	忧業意欲	でを啓発する。			
雇用・就業効果 (評価点×1)				•			職業観る	を醸成することに	より将え	来の就業に対する意	意識を深	₹める。			
所管課総合評価	fi	達成	状況	4	有效)性	8	雇用・就業効果	3	総合評価点	15	総合評価		В	
=======================================		高い			- →	低い				丰田並入立	. П				
専門部会評価		5	4	3	2	1	TC 445-FR =	平価のとおりとす	z	専門部会意 ————	.兄				
有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効果			•							受け入れ先の確保	呆につい	へては引き続き	検討を	していくべ	
(評価点×1) 専門部会総合評	価		」 状況	4			8	雇用・就業効果	3	総合評価点	15	総合評価		В	
								進め方							
 拡大・拡充				■ 維持				コ _女 善				(泰)		L	
今後の課題・取組に		対する	のこと	ではあ 上や事	前指導の		こ見合う	だけの受入れ		事来願が 保することに苦 くの職場に安心		いる。生徒		易体験に	
就労支援推進委員: 意見等	会の)評価は 発育所や			为施設 つ	での受け	け入れも検討さ	れたい	· o					

学校指導課

NO 3-9

就労支援事業近	進行管		天] 勇	∮象:	26年	:度]		所 管	課	職員	課	NO	3 -10
基本方針	就労の	場の確 ⁶	保と働	きやすし	い環境を	£作るた	こめに	対 象:	者	若者			
主要課題	ー層 ●商工 で ●契約	関係機 の向上の可体との るよう 制度等	に向けた の協力を 取り組む を見直し	た啓発派 を図り, む。 し, 就耶	活動を行 就労に 職困難者	テい, 地 に関する 皆の 雇用	地域社会 る啓発活 用状況を	ででは、 の理解を推進 動を進め、東 ・業者選定に反	する。 京しご 映させ	こ対しては, 働く とセンター多摩等 る仕組みづくりを 業観への刺激や家	等との連携し を確立する。	,広域	的な連携が
実施計画事業名		ーンシ 就業体!		度 の 活月)	用			事業内	容	職場を実体験すと就業意欲を啓		- 呼来の職	は業観の醸成
対象年度の実績	漬	3校の大学より13名の学生をインターンシップ実習生として受け入れた。											
指標区分		設定した目標の内容 平成25年度(実績) 平成26年度(実績) 平成26年度(目標)											医(目標)
対象指標		受入れ	.部署数				 11 }	部署		11部署		_	
活動指標		インタ 受入れ	ーンシ .人数	ップ			16	6名		13名		20	名
成果指標		インタ 受入れ	ーンシ .人数	ップ			16	6名		13名		20	 名
◇指標に対する道	直成状 》	兄 【S	→5点/	_A→4 k	ā∕B→S	3点/C-	→2点/	´D→0点】		◆選択した指	標= 成果指	標	
]
S目標以上に達成	戊した	, ,	目標ど	おり達	成した		おおむ	ね達成した	С	目標に達しなか	った D	取組を	行わなかった
所管課評価		高い 5	4	3	-→	低い 1				理由			
有効性・必要性 (評価点×2)								での就業経験を追程度深めることが		学生が市民および ^は 。	地域社会に貢献	献する意:	義について意識
雇用・就業効果 (評価点×1)							なる効! また、	果が得ることがつ	できた。 でのイン	現場で働くことに。 ターンシップを契析 ている。			
所管課総合評価		達成	状況	2	有交		8	雇用・就業効果	4	総合評価点	14 総合	評価	В
		高い	-		\Longrightarrow	低い					_		
専門部会評価		5	4	3	2	1			1. 7	専門部会意見	見 ————		
有効性・必要性 (評価点×2)							所官誅(の評価のとおりる	とする。				
雇用・就業効果 (評価点×1)													
専門部会総合評価	Ħ	達成	状況	2	有交	効性	8	雇用・就業効果	4	総合評価点	14 総合	評価	В
							全後の	進め方					
			[1
 拡大・拡充				 :維持				_				廃止・	
今後の課題・取組につ		依頼は 減少や ハー	25年度 年々増 大学・ ・ ド面で	実績及び加してい学生の紹介	いるが, 希望と <i>0</i>	分散F のミスマ 月を要す	目標に対	対し, 実績数が 受入れスペース こより, 実績に	不足, 結び付	ている。都内各プ会議室不足等ハー 会議室不足等ハー いていない状況で 周知や一人に対す	ード面により である。	ターン 受け入	シップ受入のれ可能部署の
		部会の	評価は	妥当では	ある。								
就労支援推進委員会 意見等													

就労支援事業	進行的	管理系	栗 [文	対象:	26年	度]		所管詞	果	障害者村	目談室	NO	4-11
基本方針	就労の	場の確	保と働	きやす	い環境を	を作るた。	めに	対象	者	障害者			
主要課題			の創出 就労困		雇用する	る取り組み	みを進	きめる。					
実施計画事業名	障害者	団体へ	の就労	機会の	拡大			事業内和	容	喫茶コーナー選 して,公共施設 サイクル,公園 し,各障害者団 を図る。	とを積極的に 清掃, 駐輪	提供する 対策等の	る。また,リ O業務を委託
対象年度の実	績	●障害者	団体への	業務委託(設の場の提 件数 33件 物品等の調		頁 28,35	8, 279円					
指標区分		設	定した目	目標の「	内容	平成	25年度	度(実績)	平月	成26年度(実績)) 平	成26年原	度(目標)
対象指標		公共施	設の場	の提供			7 抢	 包設		10施設		7 於	 一設
活動指標		障害者 数	団体へ	の業務	委託件		18 [,]	件		33件		20	件
成果指標		障害者 数	団体へ	の業務	委託件		18	件		33件		20	件
◇指標に対する	達成状法	兄 【S	3→5点/	∕A→4, ₇	点/B→	3点/C→	+2点/	D→0点】		◆選択した指	信標= 成果排	信標	
			_	<u> </u>									
S 目標以上に達	成した	A 高い	日標と	おり達	成した ー→	B a	ಚಿಕರು	ね達成した	С	目標に達しなか	いった D	取組を	行わなかった
				3	2	1				理由			
所管課評価		5	4										
所管課評価 有効性・必要性 (評価点×2)	±	5	4			_ F	庁内清掃	帚等の委託や物品	販売の増	場所の提供は,就党	ヴの機会の拡大	につなが	っている。
有効性・必要性			_							易所の提供は、就学			
有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効男	E C		•				清掃業務		的な雇用		リ, 雇用の効果		
有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効 (評価点×1)	E	達成	★	5	□ 有效 →	の性の	清掃業務	务の委託等は直接	的な雇用	用につながっており	J. 雇用の効果 17 総名	い大きい	'o
有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効果 (評価点×1) 所管課総合評値 専門部会評価 有効性・必要性	五	宣童成	■		□ 有效		清掃業務	务の委託等は直接	的な雇用 4	部につながっており 総合評価点	J. 雇用の効果 17 総名	い大きい	'o
有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効男 (評価点×1) 所管課総合評値 専門部会評価 有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効男		□ 達成 高い 5	■ ************************************	5	□ 有效 	ー が性 低い 1	清掃業務	条の委託等は直接 雇用・就業効果	的な雇用 4	部につながっており 総合評価点	J. 雇用の効果 17 総名	い大きい	'o
有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効男 (評価点×1) 所管課総合評値 専門部会評価 有効性・必要性 (評価点×2)		高い 5 口	■状況←4■	5	□	世 (低い) 1 月	情掃業務 8	条の委託等は直接 雇用・就業効果	的な雇用 4	部につながっており 総合評価点	J. 雇用の効果 17 総名 見	い大きい	'o
有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効男 (評価点×1) 所管課総合評 値 専門部会評価 有効性・点×2) 雇用・就×2) 雇用・点×1)		高い 5 口	■	5	□	世 (低い 1 月 日 り り け	青掃業務 8 所管課の	条の委託等は直接 雇用・就業効果 ご評価のとおりと 雇用・就業効果	的な雇用 4 する。	明につながっており 総合評価点 専門部会意	J. 雇用の効果 17 総 名 見	計評価	A
有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効男 (評価点×1) 所管課総合評 値 専門部会評価 有効性・点×2) 雇用・就×2) 雇用・点×1)		高い 5 口	▼	5	□	世 (低い 1 月 日 り り け	青掃業務 8 所管課の	条の委託等は直接 雇用・就業効果 評価のとおりと 雇用・就業効果	的な雇用 4 する。	明につながっており 総合評価点 専門部会意	J. 雇用の効果 17 総 名 見	計評価	A A
有効性・必要性(評価、×2) 雇用・就業効果(評価、素 1) 所管課総合評価 専門部会評価 有効性・点 ※ 2) 雇用・価点 就 × 1) 専門部会総合評		高い 5 口	■	5 3 	□	世 (低い 1 月 日 り り け	清掃業務 8 所管課の 8	条の委託等は直接 雇用・就業効果 D評価のとおりと 雇用・就業効果 進め方	的な雇用 4 する。	部につながっており 総合評価点 専門部会意 総合評価点	J. 雇用の効果 17 総 名 見	計評価	A A
有効性・必要性(評価点×2) 雇用・就案 対別(部価点×1) 所管課総合評価 専門部会 必要性(評価点×2) 雇用・就業 対別(評価点×1) 専門部会総合評	性	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	■ ************************************	□ 5 3 □ □ 5	□ 有対	か性のは、カースのは、カ	清掃業務 8 所管課の 今後の 要額に	条の委託等は直接 雇用・就業効果 ご評価のとおりと 雇用・就業効果 進め方	的な雇用 4 する。 4	部につながっており 総合評価点 専門部会意 総合評価点 □	J. 雇用の効果 17 総 合 見 27 27 27 27 27 27 27 27	許評価 原止・	A A

就労支援事業	進行官		票 [文	対象:	26年	[度]	所管	課	地域福祉	业課	NO	4 —12
基本方針	就労の	場の確	保と働	きやす	い環境で	を作るために	対象	者	高齢者			
主要課題		機会の 先してi			雇用する	る取り組みを	進める。					
実施計画事業名	高齢者	の雇用	機会の	創出			事業内容	容	退職後に臨時的, 者に対して,地域 ルバー人材センタ より高齢者の就会	域に密着し ター事業の	た仕事を 推進を行	を提供するシ テ う 。これに
対象年度の実			びに受						:, 就業相談及び蕚 :うことにより, う			
指標区分		設定	定した	目標の「	内容	平成25年	度 (実績)	平	成26年度(実績)	平	成26年月	度 (目標)
対象指標		高齢者 際に就			数(実)	5	92人		609人		600)人
活動指標		高齢者	団体の	業務受	託件数	5,	738件		6, 121件		5, 76	60件
成果指標			団体の 際に就 延人	業した	日人員 日当り	62,	923人		64, 681人		66, 1	20人
◇指標に対する	達成状況	兄 [S	3→5点/	∕A→4,	点/B→	3点/C→2点	∕D→0点 】		◆選択した指	標= 成果指	標	
S=目標以上に達	成した			おり達	成した		むね達成した	С	目標に達しなか	った D	取組を	行わなかった
所管課評価		高い 5	← -	3	-→	低い 1			理由			
有効性・必要性 (評価点×2)	ŧ		•				「齢化率は超高齢社 ・人材センター事業		われる21%を超える! は重要性が高い。	中、高齢者の	雇用創出	を図っているシ
									<u></u>			
雇用・就業効 身 (評価点×1)	=						fに対し, 地域に密 ∵いる。	着した			用創出に	大きな役割を
			★次	3							用創出に ・ 評価	大きな役割を
(評価点×1)	Ti					担担って	いる。			15 総合		
(評価点×1) 所管課総合評値	5	達成高い	状況 ←	3	有刻	型 担って 効性 8 低い 1	いる。	4	総合評価点	15 総合		
(評価点×1) 所管課総合評値 専門部会評価 有効性・必要性	t	達成 高い 5	★ 4	3	有刻 → 2	担って 数性 8 低い 1 所管部	雇用・就業効果	4	総合評価点	15 総合		
(評価点×1) 所管課総合評値 専門部会評価 有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効男		達成 高い 5	状況 ← - 4	3	有 刻	世 担って 低い 1 所管影	雇用・就業効果	4	総合評価点 専門部会意見	15 総合		
(評価点×1) 所管課総合評値 専門部会評価 有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効男 (評価点×1)		達成 高い 5 □	状況 ← - 4	3	有 刻	世 8 個い 1 所管部 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	雇用・就業効果 評価のとおりとす 雇用・就業効果	4	総合評価点 専門部会意見	15 総合	評価	В
(評価点×1) 所管課総合評値 専門部会評価 有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効男 (評価点×1)		達成 高い 5 □	*************************************	3	有 刻	世 8 個い 1 所管部 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	雇用・就業効果	4	総合評価点 専門部会意見	15 総合	評価	В
(評価点×1) 所管課総合評価 専門部会評価 有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効男 (評価点×1) 専門部会総合評		達成 高い 5 □	★ 4 4 ★ 1 ★ 1 ★ 1 ★ 1 ★ 1 ★ 1 ★ 1 ★ 1 ★	3	有 刻	世 担って 数性 8 低い 1 所管部 日 分性 8 今後 (1) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	雇用・就業効果 配用・就業効果 配用・就業効果	4	総合評価点 専門部会意見 総合評価点	15 総合	評価	В
(評価点×1) 所管課総合評価 専門部会評価 有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効男 (評価点×1) 専門部会総合評	価	遠 い 5 口 遠 市活シい に動いく	状況 4 ■ ボ況 現い知一要 状での人が	3 3 口 3 維持、めセる。	有す 2 □ □ 有す き市タまた、:	世 8 (低い 1 mm fe si	正いる。 雇用・就業効果 評価のとおりとす 雇用・就業効果 の進め方 口 材センタ無がの運動の運動のである。 対セン事業機会の確保ののできる。	4 る。 4 営たた事のの	整合評価点 専門部会意見 総合評価点	15 総合 記 15 総合 作業所の提信 場に参入でる	評価	B B 中止 相談及び事 。 準備を進め

就労支援事業流	進行管	管理系	〔文	寸象:	26年	度]		所管	課	職員課		NO	4 -13
基本方針	就労の	場の確	保と働	きやすり	い環境を	を作るた	めに	対象	者	障害者			
→ #F=# 85			の創出 就労困!		雇用する	る取り組み	みを進	≟める。					
実施計画事業名	市役所	での障	害者の)	雇用の	推進			事業内	容	①障害者法定雇用率 2.1%)達成を基本 ②就労者の雇用定着 応じて職務内容を のフォローを実施し ③職場の状況に配慮 し、障害者を雇用す	としつつ を図るた 務時間等 ていながら	, 採用 こめ, 能 等に配慮	を行う。 対や適性に はし、就労後
対象年度の実			用率2. 6年度に		,基準注	去定雇用	率(2.	3%) を上回る	実績を	確保することができ	た。		
指標区分		設	定した目	目標の内	内容	平成	25年度	度 (実績)	平月	成26年度(実績)	平成	战26年度	(目標)
対象指標													
活動指標													
成果指標			法定属	雇用率			2. 3	38%		2. 38%		2. 3%	以上
◇指標に対する過	達成状 》	兄 【S	;→5点/	∕А→4 ऱ	点/B→	3点/C→	+2点/	D→0点】		◆選択した指標=	成果指	標	
			_	•									
S 目標以上に達成	成した	A 高い	目標と	おり達	成した ーー	B a	おおむ	ね達成した	С	目標に達しなかった	D	取組を	行わなかった
		5	4	3	2	1				理 由			
所管課評価		5					11b /1	・	暗宝老 等	ナウラのまのはよけいに			た,他職員の障
有効性・必要性 (評価点×2)		•					害に対す	「る理解を深めて	いく観点	点からも,本事業の必要	性・有効性	生は高い	
有効性・必要性	Į	_	□	0			害に対す 障害者を	トる理解を深めて E対象とした採用	試験を到		性・有効性 ともに、5	性は高い E着のた	めのフォローを
有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効果	ţ	•					害に対す 障害者を行う等,	トる理解を深めて E対象とした採用	試験を到けて施労	点からも、本事業の必要 実施し適宜増員を図ると	性・有効性 ともに、5	生は高い 定着のた D効果が	めのフォローを
有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効果 (評価点×1) 所管課総合評価	i	達成	状況	4	□ 有3	[B] [D] [A]	害に対す 障害者を 行う等, る。	「る理解を深めて を対象とした採用 雇用の拡大に向	試験を到けて施労	点からも、本事業の必要 実施し適宜増員を図ると 策を講じており、実際に 総合評価点 18	性・有効性 ともに、第 一定程度 <i>0</i>	生は高い 定着のた D効果が	めのフォローを 出ていると考え
有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効果 (評価点×1)	<u> </u>	■ 達成 高い 5	★ 4	4	□ 有5 → 2	版い 1 1	書に対す 障害者を 行う等, る。 10	「る理解を深めて を対象とした採用 雇用の拡大に向	いく観点 試験を写けて施う サマ施う	点からも、本事業の必要を 実施し適宜増員を図ると 策を講じており、実際に・	性・有効性 ともに、第 一定程度 <i>0</i>	生は高い 定着のた D効果が	めのフォローを 出ていると考え
有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効果 (評価点×1) 所管課総合評価 専門部会評価 有効性・必要性 (評価点×2)	i	■	★ * 4	4	□ 有5 2 □	版い 1 1	書に対す 障害者を 行う等, る。 10	「る理解を深めて 正対象とした採用 雇用の拡大に向 雇用・就業効果	いく観点 試験を写けて施う サマ施う	点からも、本事業の必要 実施し適宜増員を図ると 策を講じており、実際に 総合評価点 18	性・有効性 ともに、第 一定程度 <i>0</i>	生は高い 定着のた D効果が	めのフォローを 出ていると考え
有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効果 (評価点×1) 所管課総合評価 専門部会評価 有効性・必妥) 雇用・点素 数果 (評価点×1)		■ 違成 高い 5 ■	★4□	3 0	□ 有5	日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	害に対す 障害者を 行う等。 10 所管課の	rる理解を深めて E対象とした採用 雇用の拡大に向 雇用・就業効果 D評価のとおりと	いく観点 試験を写けて施会 4 する。	点からも、本事業の必要性 実施し適宜増員を図ると 策を講じており、実際に 総合評価点 18 専門部会意見	性・有効性ともに、近一定程度の	生は高いを発布のため、	めのフォローを 出ていると考え 人
有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効果 (評価点×1) 所管課総合評価 専門部会評価 有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効果		■ 違成 高い 5 ■	★ * 4	4	□ 有5	版い 1 1	害に対す 障害者を 行う等。 10 所管課の	「る理解を深めて 正対象とした採用 雇用の拡大に向 雇用・就業効果	いく観点 試験を写けて施会 4 する。	点からも、本事業の必要 実施し適宜増員を図ると 策を講じており、実際に 総合評価点 18	性・有効性 ともに、第 一定程度 <i>0</i>	生は高いを発布のため、	めのフォローを 出ていると考え
有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効果 (評価点×1) 所管課総合評価 専門部会評価 有効性・必妥) 雇用・点素 数果 (評価点×1)		■ 違成 高い 5 ■	★4□	3 0	□ 有5	I	書に対す 障害者を 行うう。 10 所管課の	rる理解を深めて E対象とした採用 雇用の拡大に向 雇用・就業効果 D評価のとおりと	いく観点 試験を写けて施会 4 する。	点からも、本事業の必要性 実施し適宜増員を図ると 策を講じており、実際に 総合評価点 18 専門部会意見	性・有効性ともに、近一定程度の	生は高いを発布のため、	めのフォローを 出ていると考え 人
有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効果 (評価点×1) 所管課総合評価 専門部会 評価 有効性・点×2) 雇用・就業効果 (評価点×1) 専門部会総合評価		■ 違成 高い 5 ■	■ ************************************	3 0 4	□ 有5	I	書に対す 障害者等, る。 10 所管課の	では現在ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	いく観点 試験を写けて施会 4 する。	まからも、本事業の必要性 実施し適宜増員を図ると 実施に適宜増員を図ると まを講じており、実際に 総合評価点 18 専門部会意見	性・有効性ともに、近一定程度の	生は高い 定着のたか 対象果が 評価	めのフォローを 出ていると考え A
有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効果 (評価点×1) 所管課総合評価 専門部会評価 有効性・点薬 (評価点素×2) 雇用に価点×3) 専門部会総合評(■	** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	3 	□ 有5	I	書に対す 障害者を 行うう。 10 所管課の 今後の	では現在ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	いく観点 試験を写けて施会 4 する。	点からも、本事業の必要性 実施し適宜増員を図ると 策を講じており、実際に 総合評価点 18 専門部会意見	性・有効性ともに、近一定程度の	生は高い 定着のたり効果が 評価	めのフォローを 出ていると考え A
有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効果 (評価点×1) 所管課総合評価 専門部会 評価 有効性・点×2) 雇用・就業効果 (評価点×1) 専門部会総合評価	6	■ □ 達 □ 遠 □ 遠 □ は □ は □ は □ は □ は □ は □ は □ は	■	□ 4 3 □ □ 4 4 □ 4 math (ii) at the control of th	□ 有 有 有 有 有 有 有 有 有 有 有 有 有 有 有 有 有 有 有	は は で へ こ は は で へ こ と 職 な こ こ と 間 な で へ こ も は で へ こ も ま か と し も で へ こ も か と も と 助 と も と 助 と も と 助 と も と 助 と も と 助 と も と 助 と も と 助 と も と 助 と も と 助 と も と 助 と も と か と も と か と も と か と も と か と も と か と も と か と も と か と と か と も と か と と か と と か と と か と と か と と か と と か と と か と と か と と か と と か と と か と と か と と か と と か と と か と と か と と か と と か と と と か と と と か と と と か と と と か と と と か と と と と か と と と か と と と か と と と か と と と か と と と か と と と と か と	書に書う。 10 所管課の 10 今後 要 た適り でいる。 では、かんでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	で記すのでは、 で記すのでは、 で記すのでは、 で記すのでは、 で記する。 で記する。 で記する。 で記する。 で記する。 で記する。 で記する。 で記する。 で記する。 で記する。 で記する。 でいまる。 でいまる。	い 試け 4 する。 4 都適	まからも、本事業の必要性 実施し適宜増員を図ると 実施に適宜増員を図ると まを講じており、実際に 総合評価点 18 専門部会意見	性・有効性として、	はは高い 定着のたが 評価 歴	めのフォローを 出ていると考え A I 中止

就労支援事業	進行的	管理界	票 [文	対象:	26年	度]		所管	課	政策経営課・経	済課	NO	4 -14
基本方針	就労の	場の確	保と働	きやす	い環境で	を作るた	こめに	対 象:	者	全対象者			
主要課題		機会の 法して			雇用する	る取り糸	且みを進	ĕめる 。					
実施計画事業名	基金に	よる雇	用創出	事業				事業内:	容	離職した失業者等の 東京都に造成された 等の雇用機会を創出	基金を清	会を創出 舌用し,	出するため, 就労困難者
対象年度の領	尾 績	文化と	人権課	所管に	活用し, より実力 就職者の	施した。		かため離職した	女性の	就職支援事業として	ि च च न	インター	-ン事業」を
指標区分		設	定した	目標の「	内容	平月	成25年月	度(実績)	平月	成26年度(実績)	平月	成26年度	度(目標)
対象指標			-	_			_	_		_		_	-
活動指標			実施事	事業数						1事業		1 事	事業
成果指標			雇用創	出人数	:				事	事業参加者の16%			l者の10% 名募集予定)
◇指標に対する	達成状	況 【S	→5点/	∕A→4,	点/B→	3点/C	→2点/	D→0点】		◆選択した指標=	成果指	標	
			Г]					
	+		_			_	les les des	1 1+ -1- 1	_		<u> </u>	T- 40 -	/- 1 J. /. /
S 目標以上に通			目標と		成した ー→		おおむ	ね達成した	С	目標に達しなかった	D	取組を	行わなかった
		A 高い 5	目標と	おり達		B 低い 1	おおむ	ね達成した	С	目標に達しなかった 理 由	D	取組を	行わなかった
S 目標以上に通	性	高い	目標と	おり達	-→	低い	10/10補	助である緊急雇	用創出事		就労困難	者を支持	援する事業を実
S 目標以上に過 所管課評価 有効性・必要	性) 果	高い 5	目標と	おり達 3	-→ 2	低い 1	10/10補 施するご 就労困難	助である緊急雇 ことは、就労支援	用創出事	理 由 業等を活用し、直接的に らだけでなく市財政負担 事業であり、一定就職者	-就労困難 軽減の面 ₇	ŧ者を支持 からも有	爰する事業を実 効性は高い。
S 目標以上に適 所管課評価 有効性・必要 (評価点×2 雇用・就業効	性) 果)	高い 5	目標と 4	おり達 3	2	低い 1	10/10補 施するご 就労困難	助である緊急雇 ことは、就労支援 進者に直接的に支	用創出事 の面から 援する事 以果は高い	理 由 業等を活用し、直接的に らだけでなく市財政負担 事業であり、一定就職者	-就労困難 軽減の面 ₇	ŧ者を支持からも有事業目標	爰する事業を実 効性は高い。
S 目標以上に適所管課評価 有効性・必要 (評価点×2 雇用・就業効 (評価点×1	性) 果)	高い 5 口 違成 高い	目標と 4 4	おり達 3 0	2	低い 1 □	10/10補 施するこ 就労困 ことから	助である緊急雇 ことは、就労支援 進者に直接的に支 らも雇用・就業效	用創出事 の面から 援する事 以果は高い	理由	京労困難 軽減の面が を出して	ŧ者を支持からも有事業目標	援する事業を実 効性は高い。 を達成している
S 目標以上に適所管課評価 有効性・必要 (評価点×2 雇用・就業効 (評価点×1	性) 果) 価	高い 5 口 違成 高い 5	目標と 4 4 ま 状況	おり達 3 0 5	—→ 2 □ 有が →→ 2	低い 1 口 効性 低い 1	10/10補施する。 就労困難 ことから	助である緊急雇 ことは、就労支援 進者に直接的に支 らも雇用・就業效	用創出事業の面から 接する事 果は高い	理 由 業等を活用し、直接的に らだけでなく市財政負担! 事業であり、一定就職者:	京労困難 軽減の面が を出して	ŧ者を支持からも有事業目標	援する事業を実 効性は高い。 を達成している
S 目標以上に適所管課評価 有効性・必要 (評価点×2 雇用・就業効 (評価点×1 所管課総合評 専門部会評価	性) 果) 価 性)	高い 5 口 違成 高い 5	目標と 4 4 ま 状況	おり達 3 0 5	-→ 2 □ □ 有3 -→ 2 □ □	低い 1 口 い か性 低い 1	10/10補施 就労 ま る 8 所管課	助である緊急雇 ことは、就労支援 推者に直接的に支 ちも雇用・就業効果 雇用・就業効果 平価のとおりとす	用創出事業の面かり 援する事業は高い 4	理由	就労困難経滅の面がを出して ³	注者を支担からも有事業目標 評価	爰する事業を実 効性は高い。 を達成している
S 目標以上に適所管課評価有効性・点×・2 雇用・価無額 就点 業	性) 果) 価 性) 果)	高い 5 □ □ 達成 高い 5	目標と 4 4 1 1 1 4 1 1	おり達 3 0 5 3	-→ 2	低い 1 口 り 性 低い 1	10/10補 就ご 就労と 就ご 8	助である緊急雇品とは、就労支援 とは、就労支援 推者に直接的に支効 をも雇用・就業効果 雇用・就業効果 呼価のとおりとすて 実実施にあたって	用創出事長の面から 援する事は高い 4	理 由 業等を活用し、直接的に っだけでなく市財政負担 事業であり、一定就職者 い。 総合評価点 17 専門部会意見 エ会と連携するなど市内に	ま就労困難経滅の面がを出して事業を出して事業を出して事業を合います。 おいまい おいまい おいまい おいまい おいまい おいまい おいまい おいま	非者を支持からも有事業目標 評価	援する事業を実 効性は高い。 を達成している 人
S 目標以上に適所管課評価 有効性・点×2 雇用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	性) 果) 価 性) 果)	高い 5 □ □ 達成 高い 5	目標と 4 4 ま 状況	おり達 3 0 5	-→ 2	低い 1 口 い か性 低い 1	10/10補施 就労 ま る 8 所管課	助である緊急雇 ことは、就労支援 推者に直接的に支 ちも雇用・就業効果 雇用・就業効果 平価のとおりとす	用創出事での面から 援する 事果は高い 人	理 由 業等を活用し、直接的に らだけでなく市財政負担は 事業であり、一定就職者 い。 総合評価点 17 専門部会意見	就労困難経滅の面がを出して ³	非者を支持からも有事業目標 評価	援する事業を実 効性は高い。 を達成している
S 目標以上に適所管課評価有効性・点×必2雇用評価・点、業× 分1所管課総合評明・価値の表別では、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して	性) 果) 価 性) 果)	高い 5 □ □ 達成 高い 5	目標と 4 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	おり達 3 0 5 3 0 5	-→ 2	低い 1 口 り 性 低い 1	10/10補施 が 3	助である緊急雇品とは、就労支援 は、就労支援 をおに直接的に支効 をおるを雇用・就業効果 をおいて を表している。 をましている。 を表している。 を表している。 を表している。 を表している。 を表している。 を表している。 を表している。 をましている。 を表している。 を表している。 を表している。 を表している。 を表している。 を表している。 を表している。 をましている。 を表している。 を表している。 を表している。 を表している。 を表している。 を表している。 を表している。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をま	用創出事長の面から 援する事は高い 4	理 由 業等を活用し、直接的に合だけでなく市財政負担に事業であり、一定就職者になった。 総合評価点 17 専門部会意見 エ会と連携するなど市内に	ま就労困難経滅の面がを出して事業を出して事業を出して事業を合います。 おいまい おいまい おいまい おいまい おいまい おいまい おいまい おいま	i a を 支	爰する事業を実効性は高い。を達成しているA入れるべき。
S 目標以上に適所管課評価有効性・点×2雇用・価報点 就点 新年 中門部 会評価有効評価・点に対して、	性	高い 5 □ □ 達成 高い 5	目標と 4 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	おり達 3 3 5 5	-→ 2	低い 1 口 り 性 低い 1	10/10補施 就 3 ままま 3 ままま 3 ままま 4 ままま 4 まままま 4 まままま 4 まままままままま	助である緊急雇 ことは、就労支援 推者に直接的に支効 雇用・就業効果 である緊急雇用・対策 では、就労支援 では、対策を をは、が、対策を をは、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が	用創出事長の面から 援する事は高い 4	理由 業等を活用し、直接的に合だけでなく市財政負担は事業であり、一定就職者になった。 総合評価点 17 専門部会意見 エ会と連携するなど市内に	ま就労困難経滅の面がを出して事業を出して事業を出して事業を合います。 おいまい おいまい おいまい おいまい おいまい おいまい おいまい おいま	達者を支持 か 事業 評価 点を取り	援する事業を実 効性は高い。 を達成している A 入れるべき。
S 目標以上に適所管課評価有効性・点× 2 雇所 就点 就会	性) 果) 価	高い 5 □ □ 達成 高い 5 □ □ 達成 就労支	目標と 4 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	おり達 3 5 5 4 # # # # # # # # #	-→ 2 □ □ 有3 □ □ 有3	低い 1 口 か性 低い 1 口 か性	10/10補施 就労と 8 所今後事 8	助である緊急雇民とは、就労支援 推者に直接が対象 をもも雇用・就業効果 をおいたのでで を表現した。 を表した。 を表した。 を表した。 を表現を表現した。 を表した。 を表した。 を表した。 を表した。 を表した。 を表した。 を表した。 を表した。 を表した。 を表した。 を表した。 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、	用創出事徒の面から 援する 歌 大田	理 由 業等を活用し、直接的に合だけでなく市財政負担に事業であり、一定就職者になった。 総合評価点 17 専門部会意見 エ会と連携するなど市内に	就労困難を出して事業を出して事業を出して事業を出して事業を合	注者を支担 標	爰する事業を実 効性は高い。 を達成している A 入れるべき。

就労支援事業	進行管	查理 是	票 [文	対象:	26年	度]		所管	課	生活福	祉課	NO	5 —15
基本方針	就労の	場の確	保と働	きやす	い環境で	を作るた	こめに	対象	者	女性			
主要課題	●能力 ●関係	開発に 機関・	団体と	む女性 連携し	て多様な	な就労支	え援セミ	- - した制度を活 ミナーを開催す こ活用する。		,就労支援を進	める。		
実施計画事業名	母子家	庭自立	支援教	育·給·	付金事業	業		事業内容	容	母子家庭の経済 開発のための課 う。			
対象年度の実		母子家		技能訓	付金支統練促進		5人						
指標区分		設別	定した目	目標の内	内容	平月	成25年)	度 (実績)	平	成26年度(実績)	平成26年原	隻 (目標)
対象指標		び母子	援教育 家庭高 支給人	等技能	付金及 訓練促		4	名		5名		10	名
活動指標		び母子	援教育 家庭高 支給人	等技能			4	名		5名		10	 名
成果指標			就職	者数			1	名		1名		2	名
◇指標に対する過	達成状 源	₹ [S	3→5点/	∕A→4, ₅	点/B→:	3点/C-	→2点/	′D→0点 】		◆選択した排	標一 2	5動指標	
										I]
S│目標以上に達	成した	A	目標と	おり達	成した ー→	B 低い	おおむ	ね達成した	С	目標に達しなか	いった	D 取組を	行わなかった
所管課評価		高い 5	4	3	2	1				理由			
有効性・必要性 (評価点×2)	Ė		•				給付金の必要が		労に有る	利な資格等の取得る	を促進し、	母子世帯の経	済的自立を図る
雇用・就業効果 (評価点×1)			•				取得し	た資格を活かした	職を得る	て経済的自立となっ	っているた	ため, 効果は高	い。
所管課総合評価	i	達成	状況	2	有交		8	雇用・就業効果	4	総合評価点	14	総合評価	В
		高い	← -		- →	低い				± 55 ± - 1 ·			
専門部会評価		5	4	3	2	1				専門部会意 ————	. 見		
有効性・必要性 (評価点×2)								の評価のとおりと ついては今後も効		方法を検討すること	と。また	来庁した方に	も組織的に対応
雇用・就業効果 (評価点×1)	<u> </u>							知すること。					C 487420 11 - V 1 1/10
専門部会総合評	価	達成	状況	2	有刻	防性	8	雇用・就業効果	4	総合評価点	14	総合評価	В
							今後σ	進め方					
								1					
拡大・拡充			現状	維持			要词	改善		事業縮小		廃止	中止
今後の課題・取組に		■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □											

基本方針	就労の	場の確	保と働	きやすり	い環境で	を作るか	こめに	対象	者	市民・事業者			
主要 課題	●能力 ●関係	開発に 機関・	団体と	む女性 [.] 連携し	て多様な	は就労る	を援せ:	とした制度を活ミナーを開催す こ活用する。		,就労支援を進	動る。		
実施計画事業名	就労支	援セミ	ナーの	実施				事業内容	容	求職者,事業者 を実施する。	者を対	象に能力開発等	ら のセミナー
対象年度の実	績		ごとセ を6回			東京都常	労働相 詞	淡情報センター	, ハロ	一ワーク立川,	多摩信	言用金庫との共	催でセミ
指標区分		設	定した	目標の内	内容	平	成25年	度(実績)	平	成26年度(実績	<u>;</u>)	平成26年度	(目標)
対象指標		共催セ	ミナー	等の開	催数		6	6 回		6回		15	回
活動指標		共催セ	ミナー	等の開	催数		6) 回		6回		15	回
成果指標		延べ参	加人数	(延べ)		68	8名		392名		1, 00	0名
◇指標に対する過	主成状》	兄 【S	3→5点/	∕A→4 ₅	≒∕B→	3点/C	→2点/	∕D→0点 】		◆選択した打	旨標=	成果指標	
			_				1						
S 目標以上に達	成した		目標ど		成した		おおも	お達成した	С	目標に達しなが	かった	D 取組を	行わなかった
所管課評価		高い 5	4	3	2	低い 1				理由			
有効性・必要性 (評価点×2)	Ē							援専門機関と連携 労支援事業として			セミナー	- ・就職面接会等	の支援を行うこ
雇用・就業効果 (評価点×1)	Į			•				支援セミナーや就 。求職者に対する					多く,好評を得
所管課総合評価	5	達成	状況	2	有效)性	8	雇用・就業効果	3	総合評価点	13	総合評価	В
専門部会評価		高い			-→	低い				専門部会意	見		
有効性・必要性	<u> </u>	5	4	3	2	1		の評価のとおりと 関係機関をさらに		空 同数増につか	Li Z Hn 4	미 <i>‡</i> ☆라	
(評価点×2) 雇用・就業効果	Į.						压伤()	対际版例を こりに	1417 る=	寺, 回 奴 垣 に りな	17 Ø 4X W	正を挟削すること	
(評価点×1) 専門部会総合評	価		状況	2		」	8	雇用・就業効果	3	総合評価点	13	総合評価	В
					<u> </u>		_						
				_)進め方 				_	
□ 拡大・拡充] 維持				■ 改善善		□ 事業縮小		廃止・	
今後の課題・取組に	ついて			係機関		セミナ-		ハて積極的な共	催(広		も)を 持		
就労支援推進委員: 意見等	会の	部会の	評価は	妥当で	ある。								

経済課

5 **-**16

NO

基本方針	就労の	場の確	保と働	きやすい	い環境で	を作るだ	こめに	対象	者	女性			
	能力	開発	- 訓紀	Į.									
主要課題	●関係	機関・	団体と	連携し	て多様な	は就労さ	を援セミ	: した制度を活 : ナーを開催す :活用する。		,就労支援を進	める。		
								ı		T			
実施計画事業名	女性の	ための	就労支	援セミ [・]	ナーのヨ	実施		事業内容	容	労にブランクが	があり,	就職支援講座の 再就職に不安 向上のための請	そを感じる女
					> 1+1 KI =	± * -	/+1Œ		+ 1461-	±4.15h 4.18/4 4	- 4 1 . 1	I = -1.74	W 0 + 1 + +
対象年度の実	績	ママインターンという協働事業で、結婚・妊娠・出産等を機に離職したが働きたいと思っている女性援を実施した。講座、ワークショップ、就業体験(地域の中小企業・NPO)を通じ、再就職までのを具体化することで、再就職への行動を起こせる女性を増やすことを目指した。参加者31人に対し、就職を実現した。								のステップ			
指標区分		設定した目標の内容 平成25						度(実績)	平)	成26年度(実績	()	平成26年度	医(目標)
対象指標		就労支	援講座	の開催	 数		1	0	(1	3期 朝5回の連続講題	<u>-</u> ∑	3	
活動指標		就労支	援講座	の開催	数		1	回	(1‡	3期 朝5回の連続講座	垫)	3	□
成果指標		参	·加人数	(延べ)		8	人		31人		45	Λ.
◇指標に対する	達成状法	兄 【8	→5点/	∕A→4,	点/B→:	3点╱C	→2点/	´D→0点】		◆選択した	旨標=	活動指標	
			ı				[]
S 目標以上に達	成した	Α	目標と	おり達	成した	В	おおむ	ね達成した	С	目標に達しなが	かった	D 取組を	行わなかった
所管課評価		高い 5	4	3	-→	低い 1				理由			
有効性・必要性 (評価点×2)	ŧ									で実施することは は一定程度有効で			に男女平等推進
雇用・就業効 身 (評価点×1)	1		-				事業内容		を実施し	しただけでなく,:	参加者 <i>0</i>	D中から再就職を	実現した者が出
所管課総合評価	6	達成	状況	4	有刻	防性	6	雇用・就業効果	4	総合評価点	14	総合評価	В
		高い	_			低い	I						
専門部会評価		。 5	4	3	2	1年1、				専門部会意	見		
有効性・必要性 (評価点×2)							所管課の	の評価のとおりと	する。				
雇用・就業効果 (評価点×1)								1		T			
専門部会総合評	価	達成	状況	4	有交		6	雇用・就業効果	4	総合評価点	14	総合評価	В
							今後の	進め方					
			ı]
拡大・拡充			現状	維持			要。	数善		事業縮小		廃止・	中止
今後の課題・取組に	ついて				業を行 [・] ていく。		本との選	重携を今後も検	討し、	参加者を増やし	., —)	人でも多くの再	就職者が出
就労支援推進委員 意見等	会の				あるが, られたし		数は目標	票に達している	ものの	,参加人数は目	標に遠	達していないた	め、参加人

NO 5 −17

文化と人権課

就労支援事業	進行的	管理是	票[文	対象:	26年	度]		所 管	課	障害者相	談室	NO	5 —18
基本方針	就労の	場の確	保と働	きやすり	い環境で	を作るだ	こめに	対 象	者	障害者			
主要課題	●能力 ●関係	機関・	取り組 団体と	・ む女性 [・] 連携し	て多様な	は就労す	を援セミ	: した制度を : ナーを開催 : 活用する。		,就労支援を進め	· る。		
実施計画事業名	庁内実	習体験	事業					事業内	容	障害者の技能実務 した訓練事業を実		的に一船	段就労を想定
対象年度の実	績	ティッ [第2] [第3] 今年度	シュ配 回]12月 回]2月 [は,国	布。(17日~ 26日~ 分寺駅	4名) 19日() 3月3日 コンコ-	光図書館 日(環境	館)図書 竟計画部 おいて,	書のICタグ 果)封入作業 通行者にへ	貼り。((6名) ルプカー	:入。ヘルプカード (2名) - ド普及啓発のため :つながった。			
指標区分		設	定した	目標の内	内容	平月	成25年原	度 (実績)	平	成26年度(実績)	平月	成26年度	度 (目標)
対象指標		実習回]数				3			3 🛽		2	回
活動指標		実習回	数				3	0		3 🛭		2	回
成果指標		実習生	人数				11	名		12名		4	名
◇指標に対する	全成状:	₽ (S	3→5点。	∕ A→4,	点/B→	3点/C·	→2点/	´D→0点】		◆選択した指標	票= 成果指	標	
7 .m mn//1 / W/	£130.D(x	<u> </u>										1 1/10	
		_	[[]
		A	[成した		_	ね達成した	С	目標に達しなかっ	ot D		行わなかった
		_	[成した 	B 低い 1	_		С		ot: D		
■ S 目標以上に達	成した	A 高い	目標と	おり達	-→	低い	おおむ	お達成した		目標に達しなかっ		取組を	行わなかった
■ S 目標以上に達 所管課評価 有効性・必要性	成した 	A 高い 5	目標と 4	`おり達 3	2	低い 1	職場マラ	ーね達成した ナーや指示の受 なっている。 爰センターで,	け方等を実習終了	目標に達しなかっ	Šや作業を成 を実施し、企	取組をし遂げた業実習前	行わなかった 達成感を体験す のステップの場
■ S 目標以上に達 所管課評価 有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効果	成した E	A 高い 5	目標 ど ← -	************************************	2	低い 1	職場マラ	ーね達成した ナーや指示の受 なっている。 爰センターで,	け方等を:実習終了行動にあた	日標に達しなかっ 理 由 学ぶとともに、緊張感 後にふり返りや評価を っての課題を考える機	されて業を成 を実施し、企 後会にもつな	取組をし遂げた業実習前	行わなかった 達成感を体験す のステップの場
■ S 目標以上に達 所管課評価 有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効果 (評価点×1)	成した E	A 高い 5	目標と 4	おり達 3 	2	低い 1 □	おおむ、職場ママラ	ーね達成した ナーや指示の受 なっている。 爰センターで, ており, 就職活	実習終了る動にあた	目標に達しなかっ 理由 学ぶとともに、緊張感後にふり返りや評価をっての課題を考える機 総合評価点 1	点や作業を成 空実施し、企 機会にもつな 7	取組を し遂げた 業実習前がってい	行わなかった 達成感を体験す のステップの場
■ S 目標以上に達 所管課評価 有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効果 (評価点×1) 所管課総合評価 専門部会評価	成した E	A 高い 5 □	目標 ど 4 4 ■	おり達 3 	2	低い 1 □	おおむ 職場ママス る 第 数 数 と が と る	ーね達成した ナーや指示の受なっている。 爰センターで、 ており、就職活 雇用・就業効:	実習終了行動にあた	日標に達しなかっ 理 由 学ぶとともに、緊張感 後にふり返りや評価を っての課題を考える機	点や作業を成 空実施し、企 機会にもつな 7	取組を し遂げた 業実習前がってい	行わなかった 達成感を体験す のステップの場
■ S 目標以上に達 所管課評価 有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効果 (評価点×1) 所管課総合評価 専門部会評価 有効性・必要性 (評価点×2)	成した E 5	A 高い 5 口 違成	目標と 4 ■ ********************************	まり達 3 口 口 5	→ 2 □ □	低い 1 口 り はい	おおむ 職場ママと 支って 8	・ね達成した ナーや指示の受います。 それがいる。 それが、 で、で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	け方等を: 実習終了? 動にあた 4	目標に達しなかっ 理由 学ぶとともに、緊張感後にふり返りや評価をっての課題を考える機 総合評価点 1	感や作業を成 E実施し、企 機会にもつな 7 総合	取組を し遂げた 業実習前がってい	行わなかった 達成感を体験す のステップの場 る。
■ S 目標以上に達 所管課評価 有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効果 (評価点×1) 所管課総合評価 専門部会評価 有効性・必要性	成した E 5	A 高い 5 口 立 達成	目標 ど 4 ■ ボ状況	おり達 3 0 5 3	- → 2 □ □ 有対 - → 2 2	低い 1 □ □ ③ 数性 低い 1	おおむ 職場マン 就場場 対 対 なっ	・ね達成した ナーや指示の受います。 それがいる。 それが、 で、で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	け方等を: 実習終了? 動にあた 4	目標に達しなかっ理 由学ぶとともに、緊張感後にふり返りや評価を考える機能合評価点 1専門部会意見実績が判明した。今後	※や作業を成と実施し、企会にもつなを合をも継続的な	取組を し遂げた 業実習前がってい	行わなかった 達成感を体験す のステップの場 る。
■ S 目標以上に達 所管課評価 有効性・必要性 (評価点×2) 雇用・就業効果 (評価点×1) 所管課総合評価 専門部会評価 有効性・点×2) 雇用・就業効果	成した E	A 高い 5 口 違成 高い 5	目標 と 4 ■ **********************************	おり達 3 0 5	—→ 2 □ □ 有対 → 2 □ □ □	低い 1 □ □ 効性 低い 1	おおむ 職場マン 就場場 対 対 なっ	・ね達成した ナーや指示の受います。 それがいる。 それが、 で、で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	け方等を:実習終了:動にあた	目標に達しなかっ理 由学ぶとともに、緊張感後にふり返りや評価を考える機能合評価点 1専門部会意見実績が判明した。今後	A A A A A A A A A B	取組を し遂げた 業実習前がってい	行わなかった 達成感を体験す のステップの場 る。
■ S 目標以上に達 所管課評価 有効性・点× 2) 雇用・就業 1) 所管課総合評価 専門部会評価 有効性・点× 2) 雇用・成・ 2) 雇用・成・ 2) 雇用・成・ 3)	成した E	A 高い 5 口 違成 高い 5	目標 ど 4 ■ は状況	おり達 3 0 5 3	—→ 2 □ □ 有対 → 2 □ □ □	低い 1 	おおむ 職場場ママと 就と 対な 8 所で成期待・ 8	はない。 はない。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 では、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、	け方等を・実習終了を動にあた	目標に達しなかっ理 由学ぶとともに、緊張感後にふり返りや評価を考える機能合評価点 1専門部会意見実績が判明した。今後	※や作業を成と実施し、企会にもつなを合をも継続的な	取組をし遂げた業実習がかってい	行わなかった 達成感を体験す のステップの場 る。 A
■ S 目標以上に達 所管課評価 有効性・点× 2) 雇用・就業 1) 所管課総合評価 専門部会評価 有効性・点× 2) 雇用・成・ 2) 雇用・成・ 2) 雇用・成・ 3)	成した E	A 高い 5 口 違成 高い 5	目標 2 4 ■	おり達 3 0 5 3	—→ 2 □ □ 有対 → 2 □ □ □	低い 1 	おおむ 職場マン	ね達成した ナーや指示の受 っている。 まセンターで、 まており、就業 の評価できる。 雇用・就業効:	け方等を・実習終了を動にあた	目標に達しなかっ理 由学ぶとともに、緊張感後にふり返りや評価を考える機能合評価点 1専門部会意見実績が判明した。今後	※や作業を成と実施し、企会にもつなを合をも継続的な	取組を し遂げた 業実でい 評価	行わなかった 達成感を体験す のステップの場 る。 A
■ S 目標以上に達 所管課評価 有効性・点×2) 雇用評価 本点×1) 所管課総合評価 専門部会部価 有効性・点菜2) 雇用評価・点×2) 雇用評価・協・※2) 雇用評価会総合評 の まん	成した E	A 高い 5 口 違 成 5 口 立 違 成	目標 2 4 ■ ■ *******************************	おり達 3 3 5 5 5		低い 1 口 か性 低い 1 口 か性	おお 就と マン	・ね達成した ・・なっている。 ・・なっている。 ・・ではいっている。 ・・ではいっている。 ・・ではいっている。 ・・ではいっている。 ・・ではいっている。 ・・ではいっている。 ・・ではいっている。 ・・ではいっている。 ・・ではいっている。 ・・ないのではいる。 ・・ないのではいるではいる。 ・・ないのではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいる	け方等を:実習終了活動にあた。 実動にあた。 は、ようなのが、 と員就労の!	国標に達しなかっ 理由 学ぶとともに、緊張感後にふり返りや評価を っての課題を考える機 総合評価点 1 専門部会意見 実績が判明した。今後	感や作業を成まままままままままままままままままままままままままままままままままままま	取組を は遂げた 実が 評価 実施によ	行わなかった 達成感を体験す のステップの場 る。 A り雇用就業効果
■ S 目標以上に達 所管課評価 有効性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	成した E E	A 高い 5 □ □ 達 応 5 □ □ 成 単生就	目標	お 3 0 5		低い 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	おお 就と 8 所平が 8 今後 要のれる まままま できまま できまま できまま ままま できる ままま できる かん できる ままま かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう ままま しゅうしゅう しゅうしゅう はんしゅう はんしゅう かんしゅう はんしゅう かんしゅう しゅう かんしゅう はんしゅう はんしゅう しゅう はんしゅう しゅう はんしゅう しゅう はんしゅう はんしゅん はんしゅう はんしゅん はんしん はんし	は では	け方等を・	国標に達しなかっ 理由 学ぶとともに、緊張感後にふり返りや評価を っての課題を考える機 総合評価点 1 専門部会意見 実績が判明した。今後	なや作業を成金 7 総合 1 1 6 も継続的な 7 総合 1 し等 た。 に が判調整 に た。 に が判調整 に を に で に	取組を 業が 評価 廃こ面の にした にした	行わなかった 達成感を体験すのステップの場合 A り雇用就業効果 A

就労支援事業	進行的	管理界	票 [対	対象:	26年	度]		所管	課	経済課		NO	6 -19
基本方針	地域で	就労支	援をす	すめる	ために			対 象:	者			_	
主要課題	●市が ●障害	率先し 者の就	て就労 労支援	を進め	に雇用 [。]	こ地域は	車携組絹	ễ供し事業を進 むを設置する。	めるた	めに庁内組織を設置す	する。		
実施計画事業名	就労支	援推進	のため	の庁内	連絡会			事業内	容	庁内関係部署との連 針実施計画連絡専門 う。			
対象年度の実		支援方		[画信]						業の進行管理を行う。 である「国分寺市就!			
指標区分		設!	定した	目標の「	内容	平	成25年原	度 (実績)	平	成26年度(実績)	平成2	6年度	(目標)
対象指標		連絡会	の開催				2	回		8回		3	回
活動指標		連絡会	の開催	<u> </u>			2	回		8 🛽		3	回
成果指標													
◇指標に対する	達成状法	兄 [8	3→5点/	⁄A→4,	点/B→	3点/C	→2点/	´D→0点】		◆選択した指標=	活動指標		
							-]					
S□目標以上に達	成した	A 高い		ぎおり達 	成した ー→	B 低い	おおむ	ね達成した	С	目標に達しなかった	D 取	組を	行わなかった
所管課評価 		5	4	3	2	1				理 由			
有効性・必要性 (評価点×2)	ŧ		•				る情報の		の見直	進していくのに当たり,∫ し作業等を行う連絡会で∂		:	
雇用・就業効果 (評価点×1)				•				連絡会を開催し就 とができる。	忧労支援	方針実施計画事業の進行	管理を行うこ	ことで	事業の推進を
所管課総合評価	5	達成	状況	5	有数	协性	8	雇用・就業効果	3	総合評価点 16	総合評	価	Α
専門部会評価		高い	←-		-→	低い				—————— 専門部会意見			
有効性・必要性		5	4	3	2	1	所管課(り評価のとおりと	:する。	יול אמו אב קון ניי			
(評価点×2) 雇用・就業効果													
(評価点×1) 専門部会総合評	価		状況	5		」	8	雇用・就業効果	3	総合評価点 16	総合評	価	A
							A //: -	>#- 11 - 1-		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
								進め方 					1
 拡大・拡充				■ t維持				コ <u>ーーーー</u> 女 善			区	 • +ı≰	· 中止
今後の課題・取組に	ついて		き就労	支援事	業推進() を開(「就労	-	計画連	絡専門部会」(平成2			
就労支援推進委員		並るの	雪浦 1十	妥当で	ある。								

													•	
基	基本方針	地域で	就労支	援をす	すめる:	ために			対 象 :	者		_		
Ė	三要課題	●市が ●障害	率先し 者の就	て就労 労支援	を進め	に雇用や	こ地域選	車携組織	・ 提供し事業を進 識を設置する。	めるた	めに庁内組織を	設置す	する。	
実施	計画事業名	障害者	就労支	援推進	のため	の連絡会	숇		事業内容	容	障害者の就労 体等のネット! 図る。			
対	†象年度の実	績									の就労の場・ホ 4. 平成27年度 <i>0</i>			
	指標区分		設!	定した	目標の「	内容	平	成25年月	芰(実績)	平	成26年度(実績	i)	平成26年	度(目標)
	対象指標		就	労支援	車絡会開	昇催		0	0		2回		1	0
	活動指標			連絡会	:開催数			0	回		2 回		1	回
	成果指標			連絡会	:開催数			0	回		2 回		1	回
♦	指標に対する	達成状 法	兄 【8	3→5点/	∕A→4, ₅	ክ∕B→:	3点/C	→2点/	´D→0点】		◆選択した	旨標 =	活動指標	
				I				I]					
S	目標以上に達	成した	Α	目標と	おり達	成した		おおむ	ね達成した	С	目標に達しなれ	かった	D 取組を	そ行わなかった
	所管課評価		高い 5	4	3	-→	低い 1				理由			
;	有効性・必要性 (評価点×2)	Ē		•				確保及	び国分寺市が障害	福祉サー	び国分寺市役所内 ービス事業者等と づけられており必	締結する	る委託契約等に	
j	雇用・就業効果 (評価点×1)	Ę			•						討し,外部の関係 つながることが期			各会が機能するこ
Ī	听管課総合評価	i	達成	状況	5	有刻	防性	8	雇用・就業効果	3	総合評価点	16	総合評価	Α
	専門部会評価		高い			-→	低い				———————— 専門部会意	F =		
		L .	5	4	3	2	1	正答 電	の評価のとおりと	オス	41000000000000000000000000000000000000	、兀		
	有効性・必要性 (評価点×2)			•							委員構成等につい	て引き	売き検討していた	こだきたい。
j	雇用・就業効果 (評価点×1)	1			•									
専	門部会総合評	価	達成	状況	5	有交	効性	8	雇用・就業効果	3	総合評価点	16	総合評価	Α
								今後の	進め方					
				ı				ı						
	拡大・拡充				維持				改善		事業縮小		廃止	・中止
今後の)課題・取組に	ついて	連絡会	の役割	及び委	員構成等	等につい	ハて , <u> </u>	引き続き検討し	ていく	必要がある。			
			部合の	☆(ボ/+	妥当で	ホ ス								
就労	方接推進委員: 意見等	会の	事業に	ついて		して進む	めてい	くべきで	であるが、今後	の進め	方にも書いても	5るよ [.]	うに、早急に	この点につい

障害者相談室

NO 6-20

就労支援事業	進行管		文] 票	対象:	26年	度]		所管	課	経済課		NO	6 -21
基本方針	地域で	就労支	援をす	すめる	ために			対 象 ‡	者		_	_	
十	●市が ●障害	率先し 者の就	労支援	困難者を進め	に雇用や	こ地域週		提供し事業を進 織を設置する。	めるた	めに庁内組織を設置で	する。		
実施計画事業名	就労支	事業内容 関係機関や団体との情報交換等を行い 就労支援推進を図る。									「い,地域の		
対象年度の実	績	平成26 定にむ	年度に けた意	ついて 見交換	は新たI 等を行	こ国分₹ った。	市商	工会からも委員	として	国分寺市就労支援地域参加いただき。「国2 ニブルーム交流カフ2	分寺市就	労支援	
指標区分		設別	定した日	目標の「	内容	平月	成25年	度(実績)	平月	成26年度(実績)	平成	え26年度	医(目標)
対象指標													
活動指標		就労支 検討	援地域	連絡会	による		-	1 🗓		1 回		3	回
成果指標		地域雇 施	用に繋	がる事	業の実		-	1 🗓		5 🛭		2	回
◇指標に対する説	達成状 》	兄 【S	3→5点/	∕A→4, ₅	点/B→:	3点/C-	→2点/	/D→0点 】		◆選択した指標=	成果指	票	
] ·+\	- 					日毎に法したかった			_
S 目標以上に達	风した	A 高い	日保 <	あり達	成した ー→	B 低い	ದಿದಿ	ひね達成した	С	目標に達しなかった	D	収組を	行わなかった
所管課評価 		5	4	3	2	1				理 由			
有効性・必要性 (評価点×2)	Ė						意見・	情報交換, 連携の	ほか, ±	最も関わりが大きい関係∜ 地域雇用の創出を目的と↓ 上で,有効性は高い。			
雇用・就業効果 (評価点×1)	1									めの情報交換を行うほか, ど、一定の効果がある。	地域連絡	各会での	連携による合同
所管課総合評価	ī	達成	状況	5	有效	协性	8	雇用・就業効果	3	総合評価点 16	総合	評価	Α
専門部会評価		高い	← -		- →	低い				————— 専門部会意見			
マニュニ おおり おおり おり おり おり はい おいま はい まい	<u> </u>	5	4	3	2	1	所管課	の評価のとおりと	する.	+ 1 即太忠兄			
(評価点×2) 雇用・就業効果							🗀 🕪	2,	. •••				
産用・汎耒効果 (評価点×1)	•			-					I -	, I	ı	ı	
専門部会総合評	価	達成	状況	5	有效	沙性	8	雇用・就業効果	3	総合評価点 16	総合	評価	Α
							今後(の進め方					
]				•]
拡大・拡充		参加		維持	大してに	八人心田		改 善 ろ (平成27年		事業縮小国分寺市シルバー人	はわいた	廃止・	
今後の課題・取組に	ついて	少川饭	ixi で C	つに払	~ • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	・・、 必る	∠N, QΩ	~0。(十八以∠1年	- 又 	四刀 サルンルハー人(ロロング	一岁ル	1' AC./
就労支援推進委員: 意見等		部会の	評価は	妥当で	ある。								